第２部

調査の結果

第２部 調査の結果

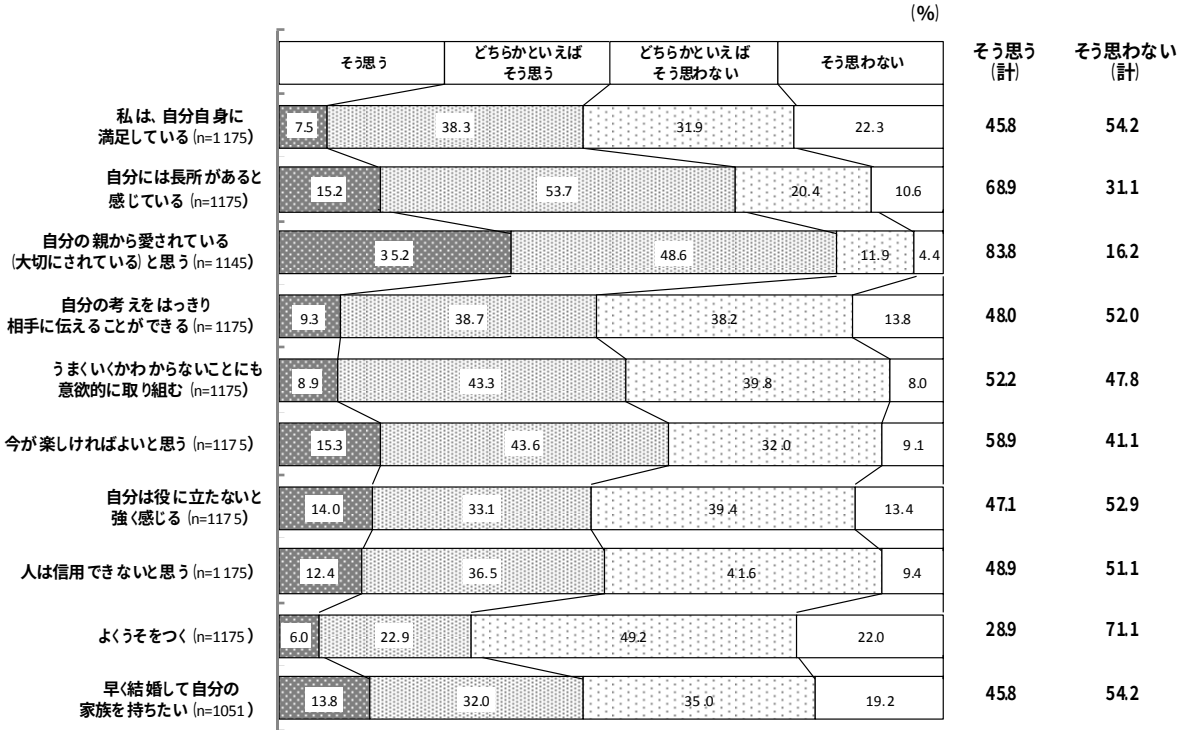
第１章　人生観関係

１　自己認識

（１） 自分についてのイメージ

Ｑ１　次のことがらがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。以下のそれぞれについて，あてはまるものを１つ選んでください。(回答はそれぞれ１つずつ)

自分についてのイメージを日本の若者に聞いたところ,「自分の親から愛されている（大切にされている）と思う」（83.8%),「自分には長所があると感じている」（68.9%),「今が楽しければよいと思う」（58.9%）等の項目で,『そう思う』(「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）と答えた割合が高い。

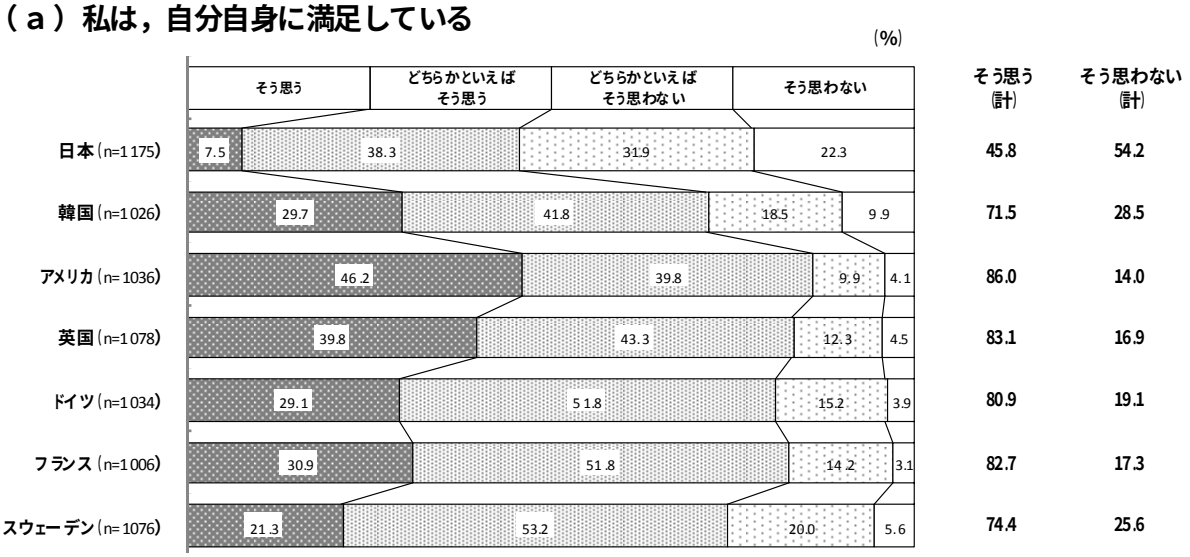


※「自分の親から愛されている（大切にされている）と思う」は，父親または母親が健在の人が対象

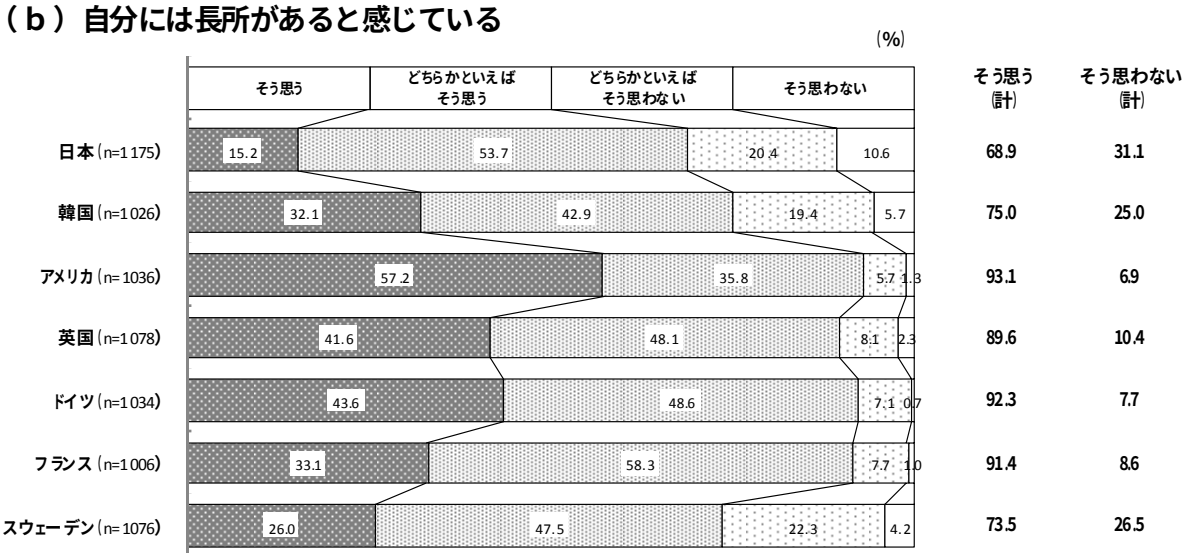
※「早く結婚して自分の家族を持ちたい」は未婚者が対象

【国別】

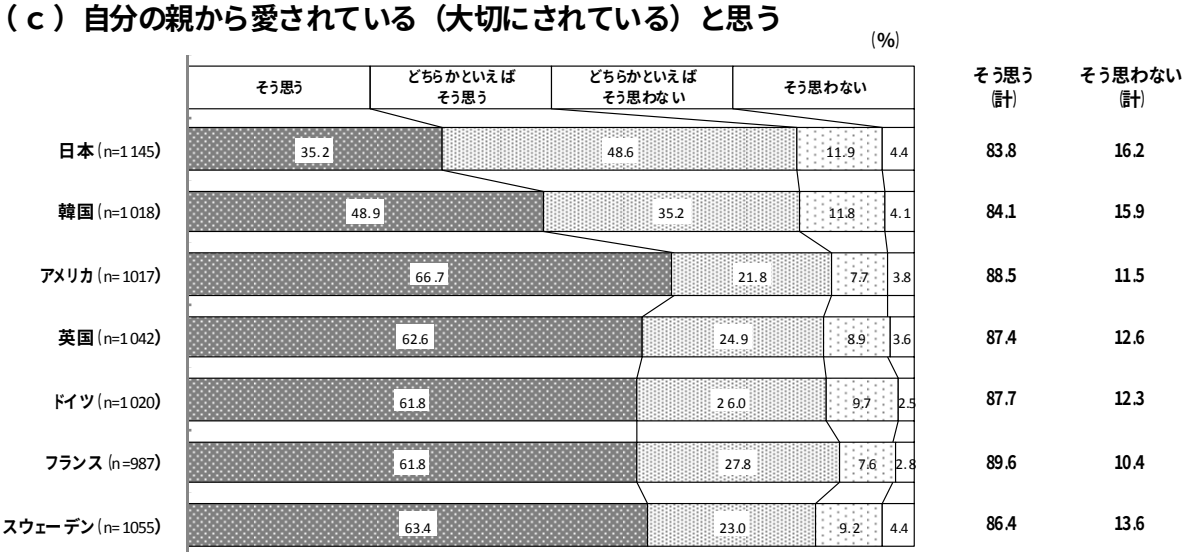
（ａ）私は，自分自身に満足している



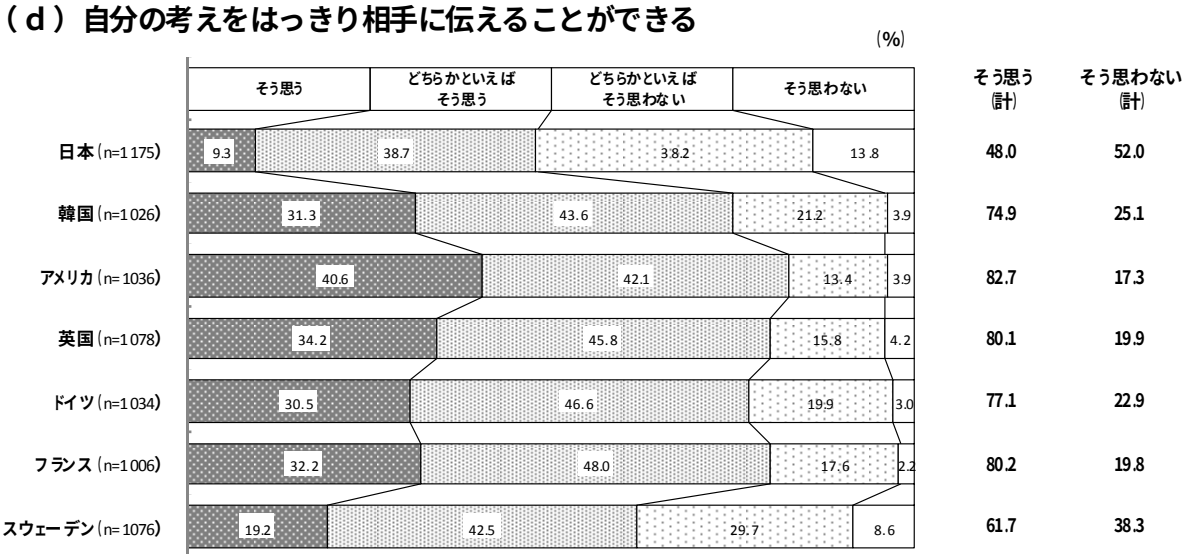
（ｂ）自分には長所があると感じている



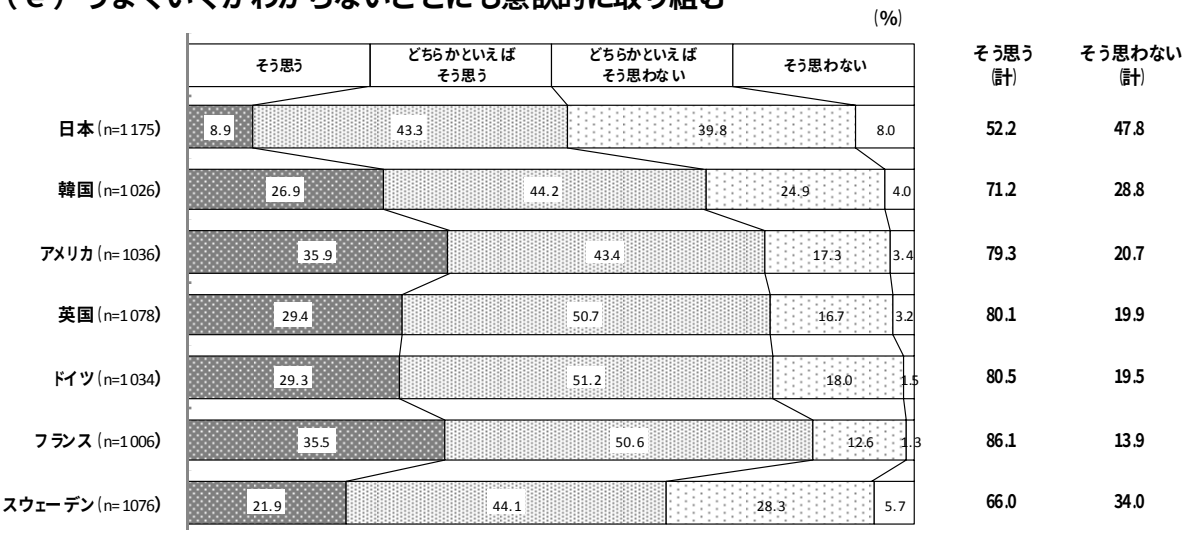
（ｃ）自分の親から愛されている（大切にされている）と思う



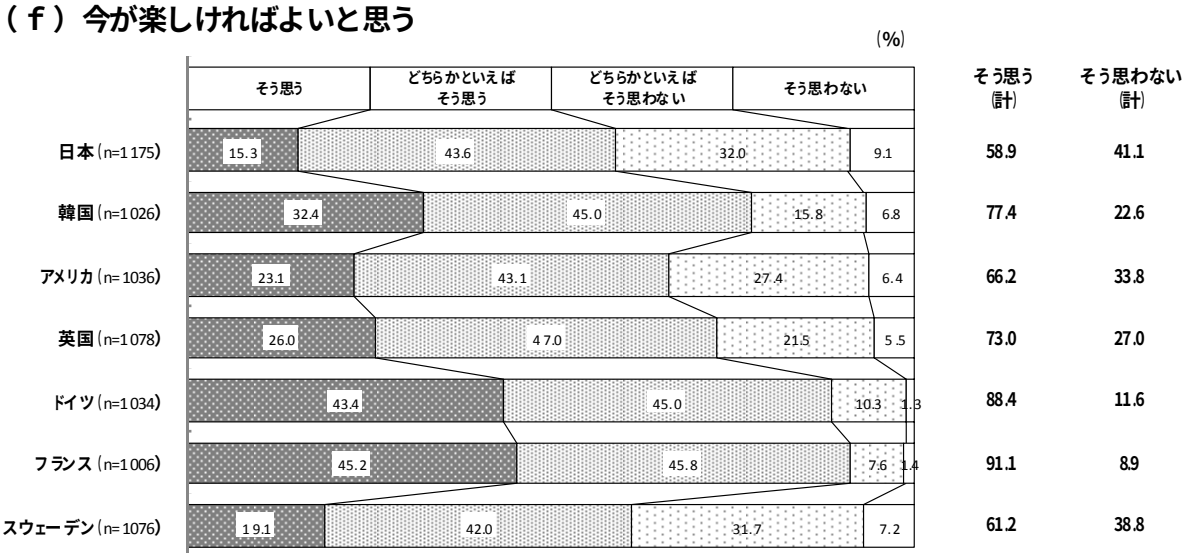
（ｄ）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる



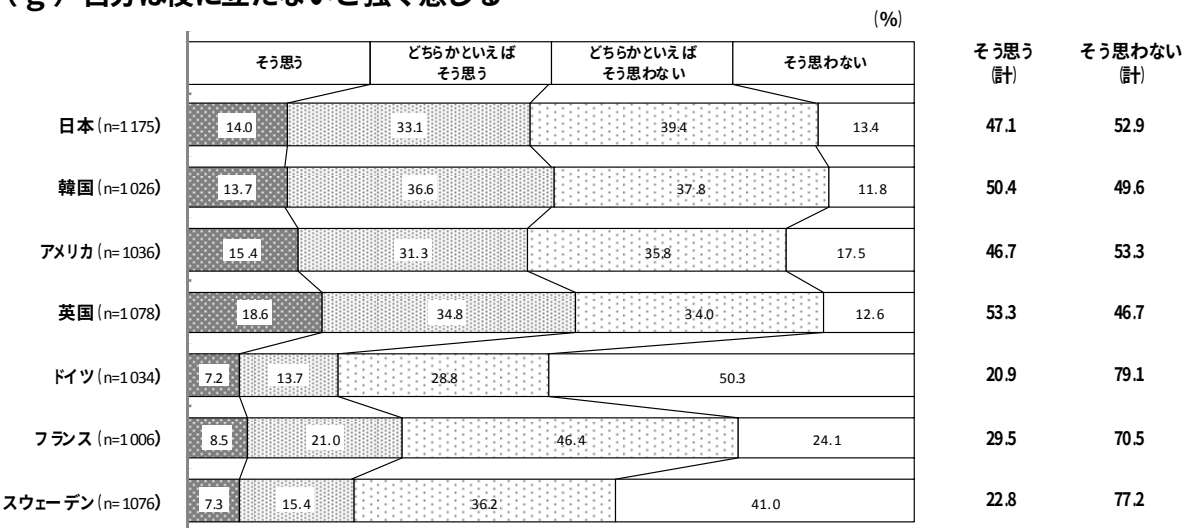
（ｅ）うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む



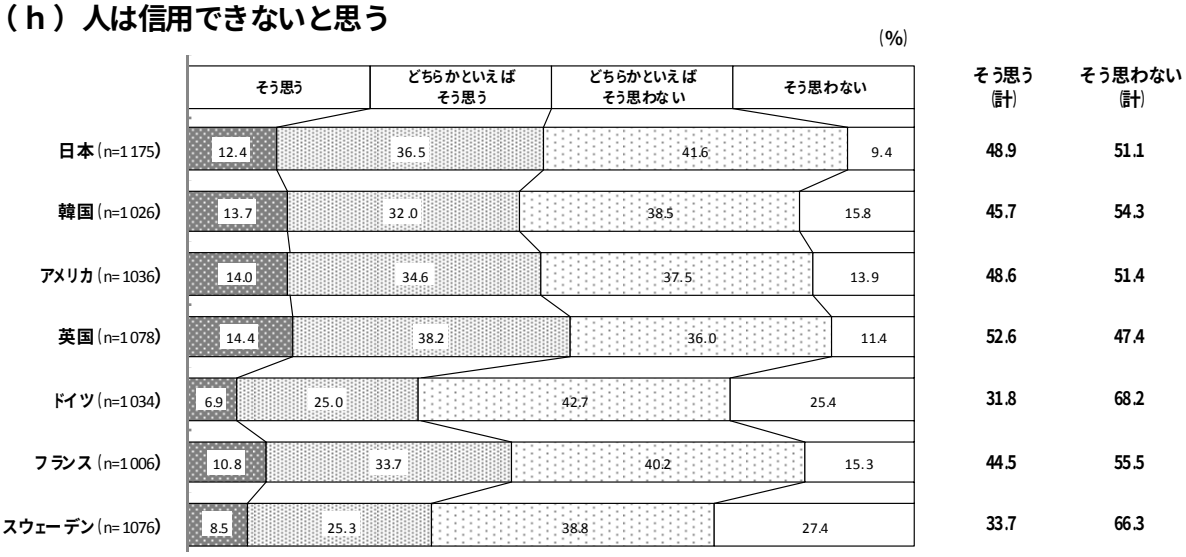
（ｆ）今が楽しければよいと思う



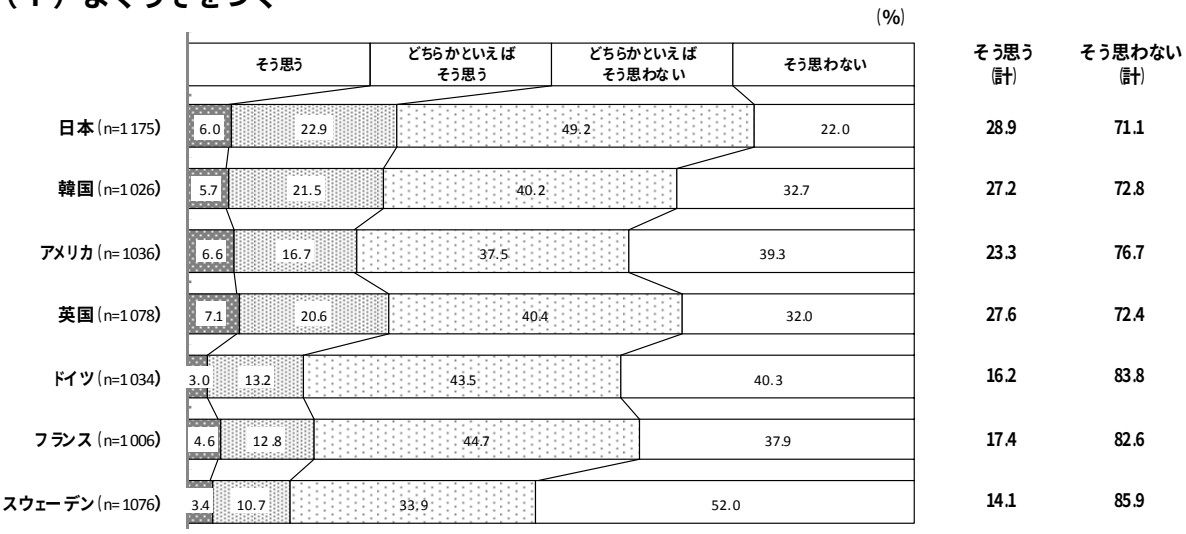
（ｇ）自分は役に立たないと強く感じる



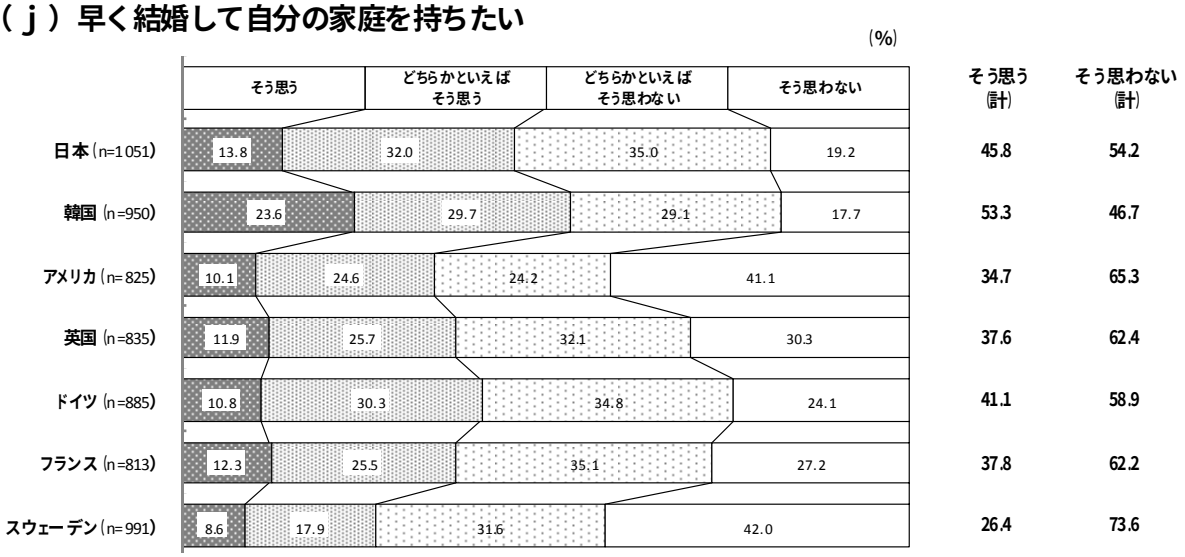
（ｈ）人は信用できないと思う



（ｉ）よくうそをつく



（ｊ）早く結婚して自分の家庭を持ちたい

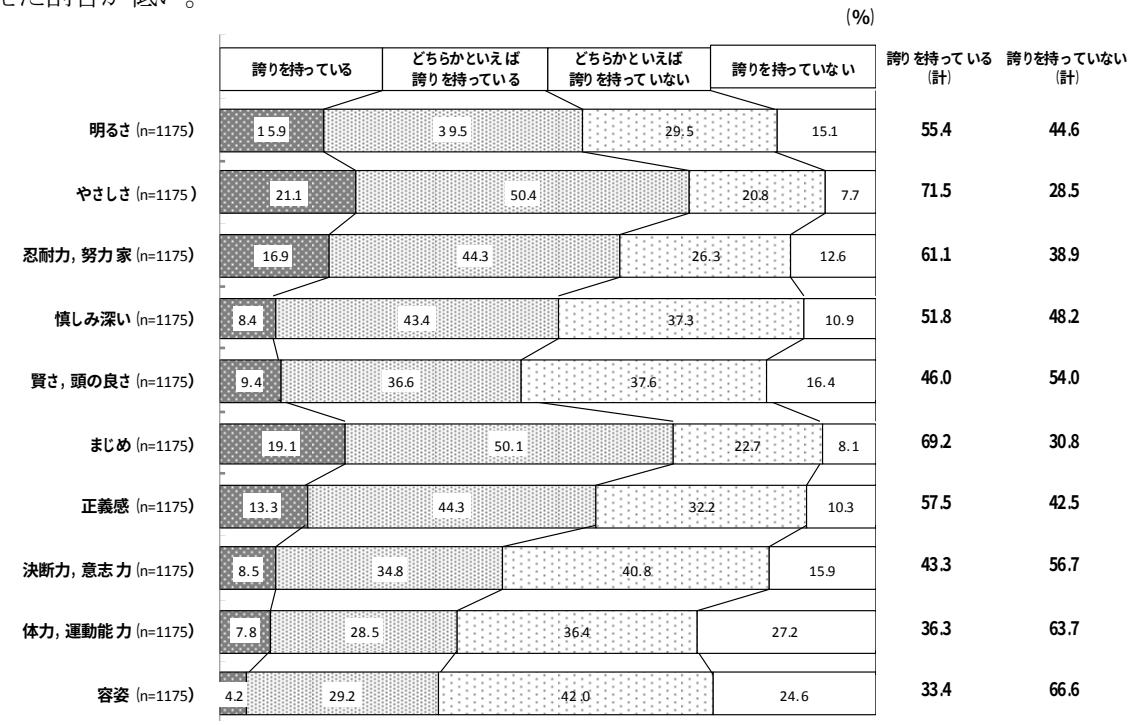


（２） 自分についての誇り

Ｑ２　あなた自身のことについてうかがいます。あなたは，以下のそれぞれについて，誇りを持っていますか。あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。(回答はそれぞれ１つずつ)

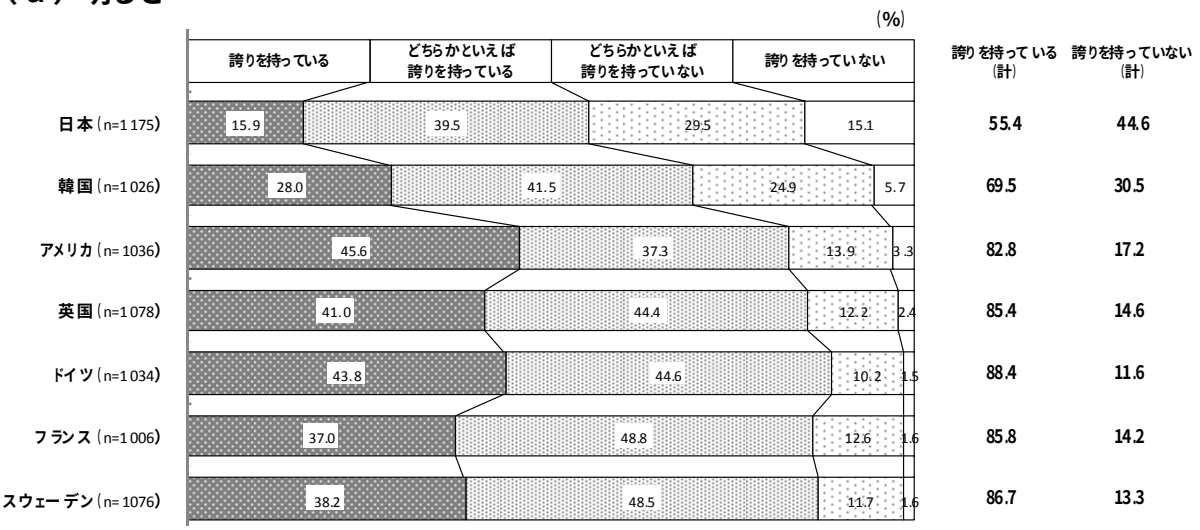
自分についての誇りを日本の若者に聞いたところ，「やさしさ」（71.5%），「まじめ」（69.2%），「忍耐力，努力家」（61.1%）等の項目で，『誇りを持っている』（「誇りを持っている」＋「どちらかといえば誇りを持っている」）と答えた割合が高い。

一方，「容姿」（33.4%），「体力，運動能力」（36.3%）については，『誇りを持っている』と答えた割合が低い。

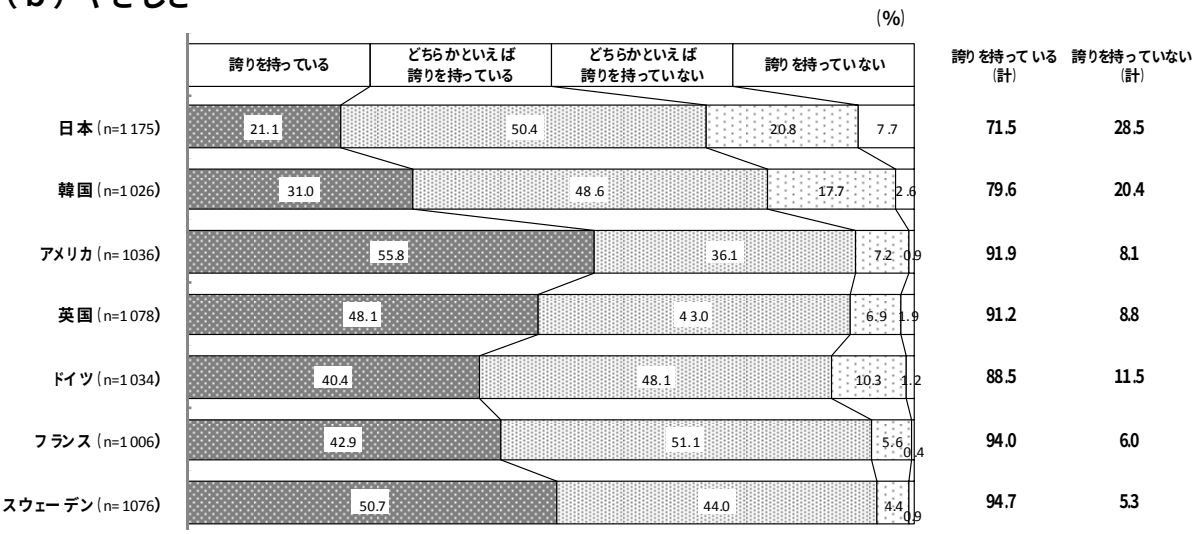


【国別】

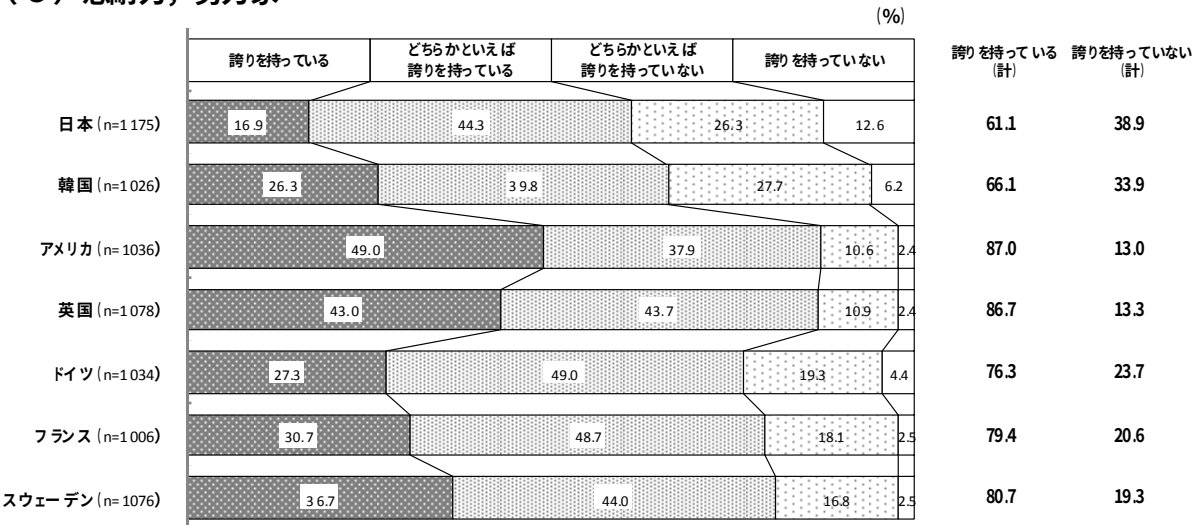
（ａ）明るさ



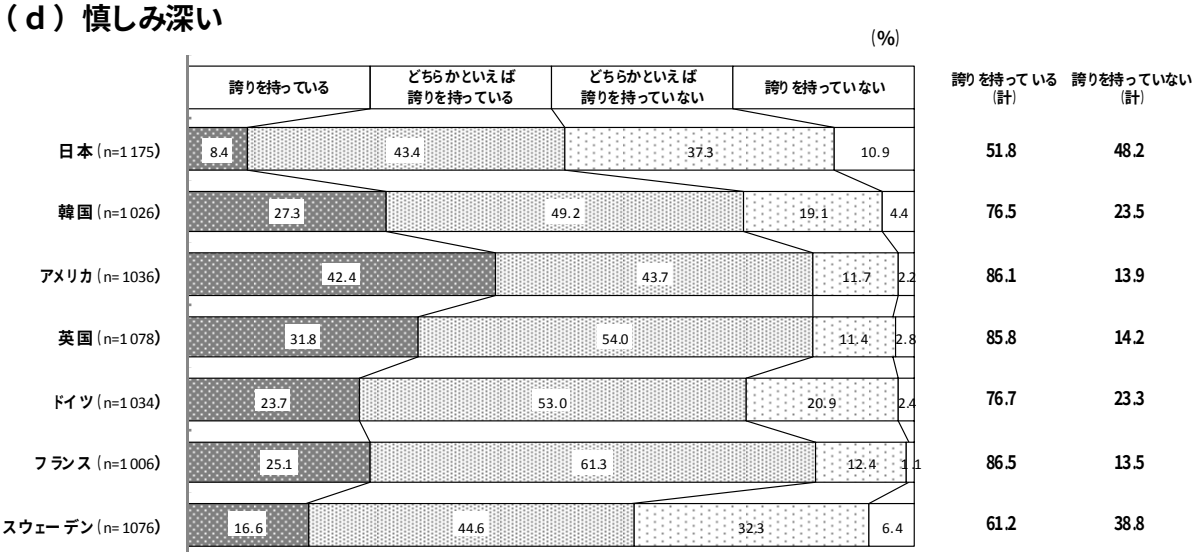
（ｂ）やさしさ



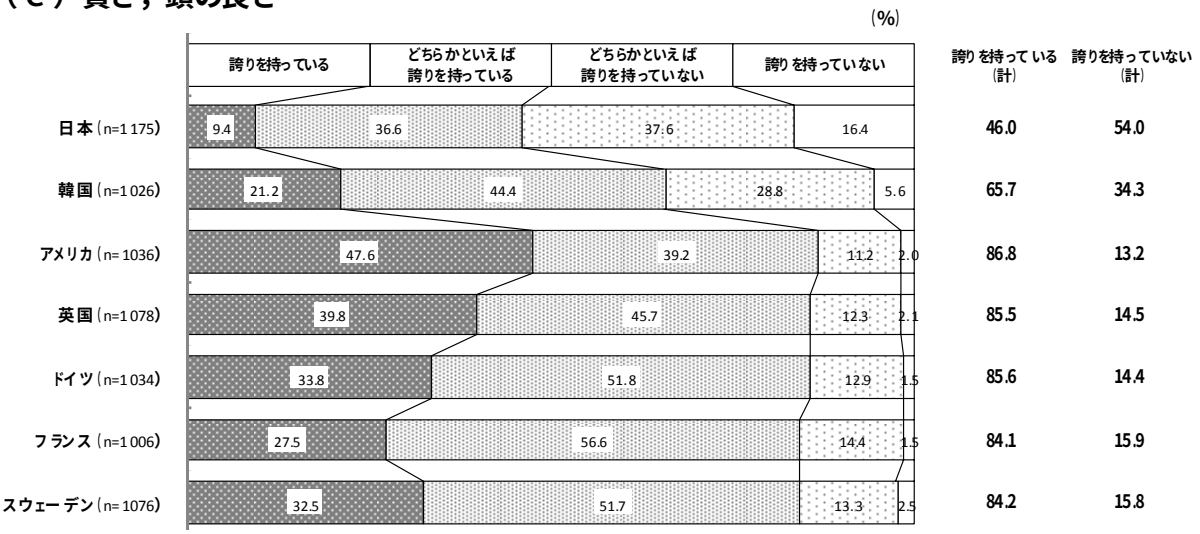
（ｃ）忍耐力，努力家



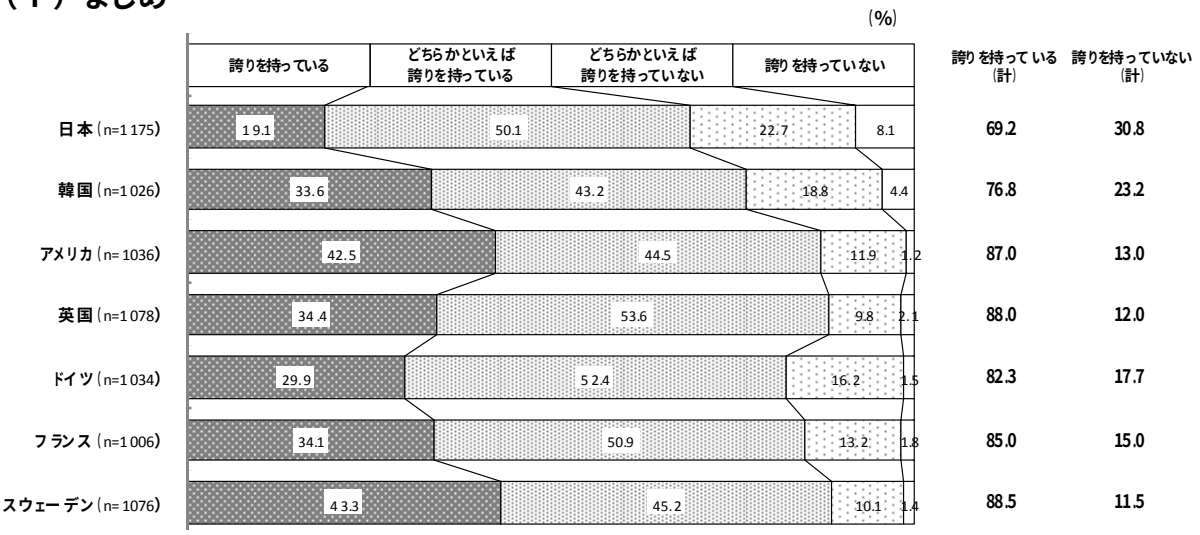
（ｄ）慎しみ深い



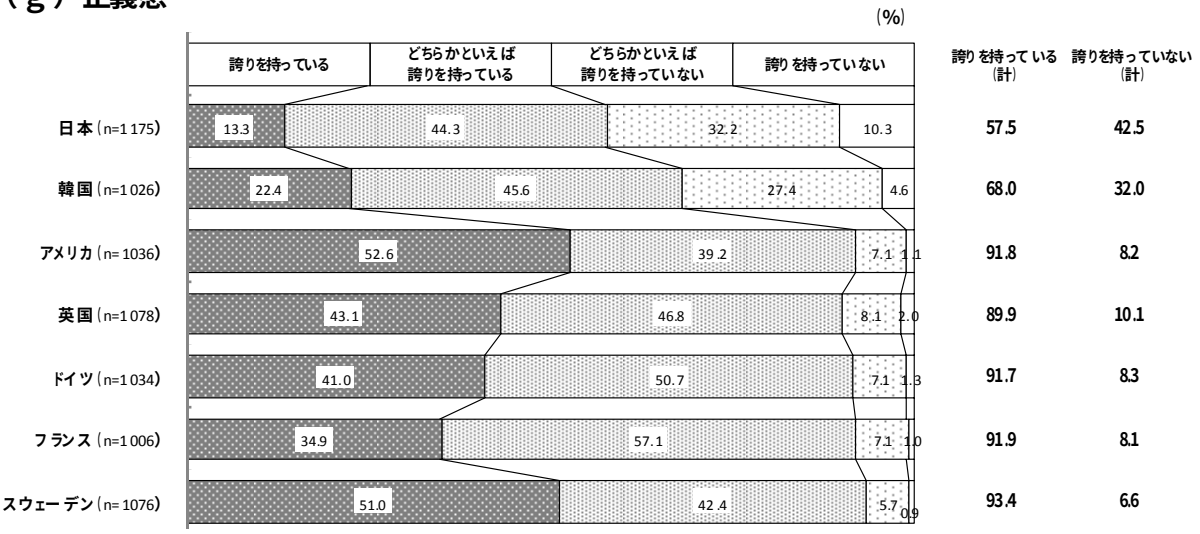
（ｅ）賢さ，頭の良さ



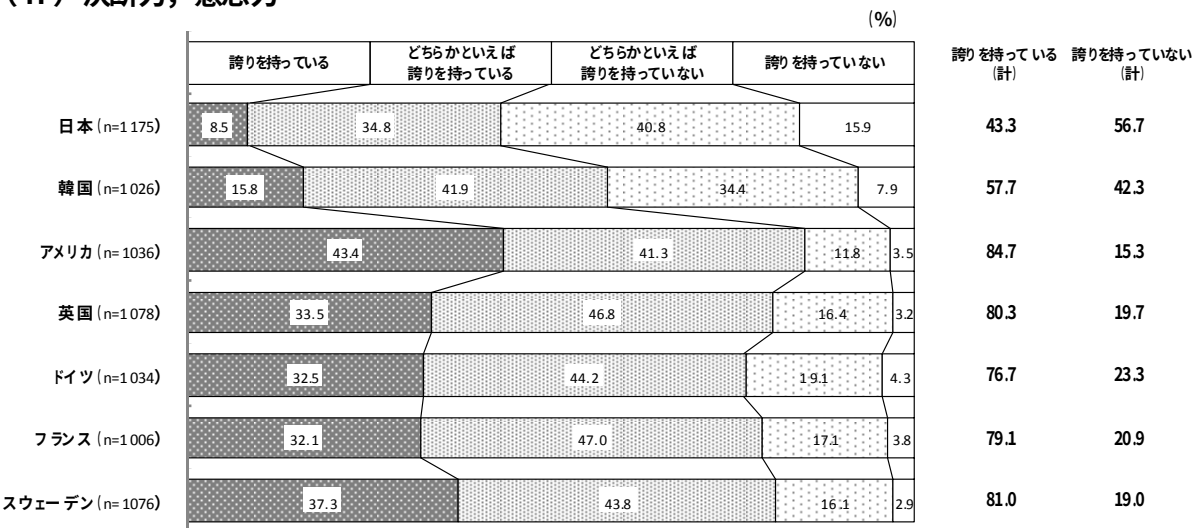
（ｆ）まじめ



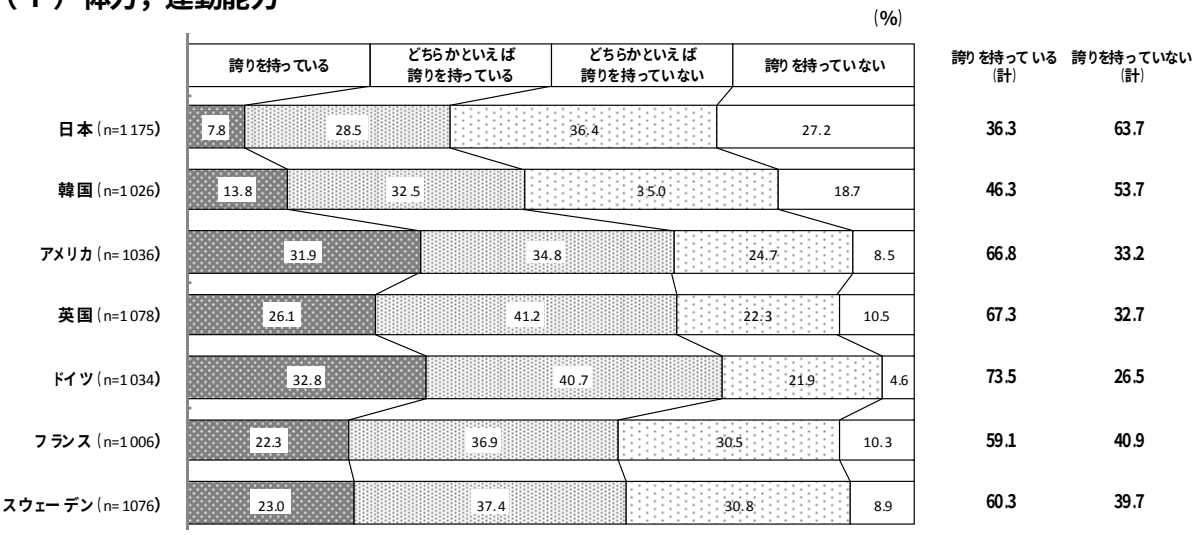
（ｇ）正義感



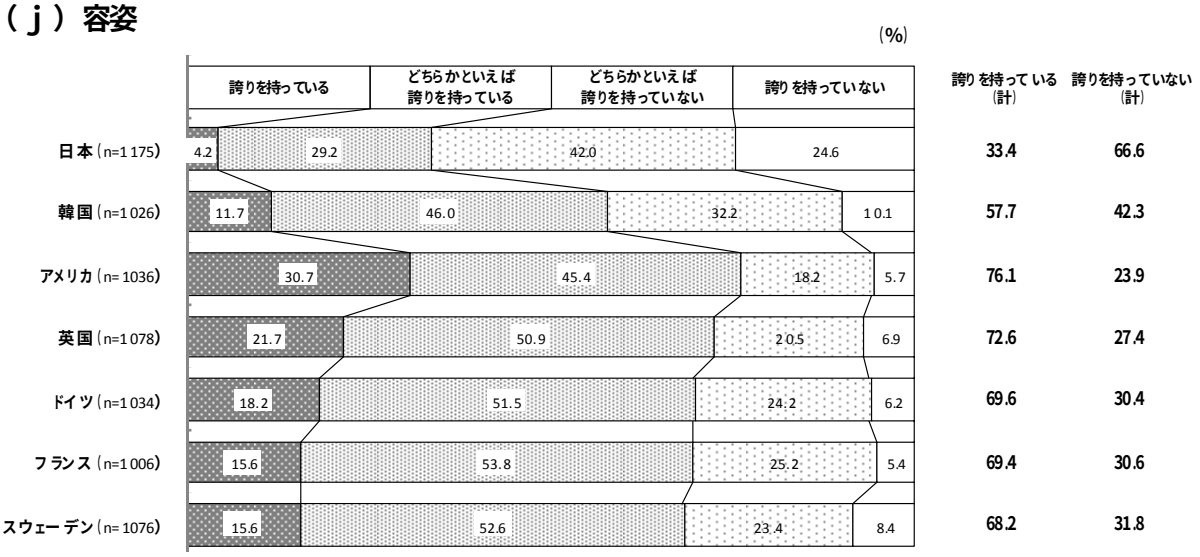
（ｈ）決断力，意志力



（ｉ）体力，運動能力



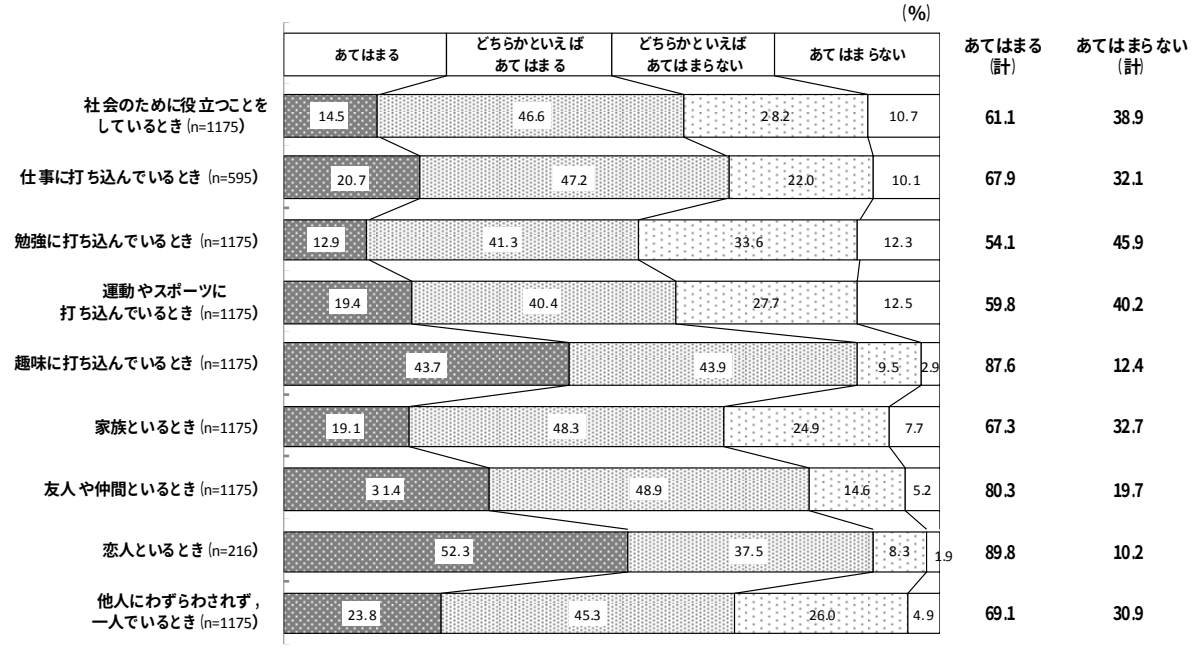
（ｊ）容姿



（３） 充実感

Ｑ３　あなたは，どんなときに充実していると感じますか。あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。（回答はそれぞれ１つずつ）

充実感について日本の若者に聞いたところ，「恋人といるとき」（89.8%），「趣味に打ち込んでいるとき」（87.6%），「友人や仲間といるとき」（80.3%）等の項目で，『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と答えた割合が高い。

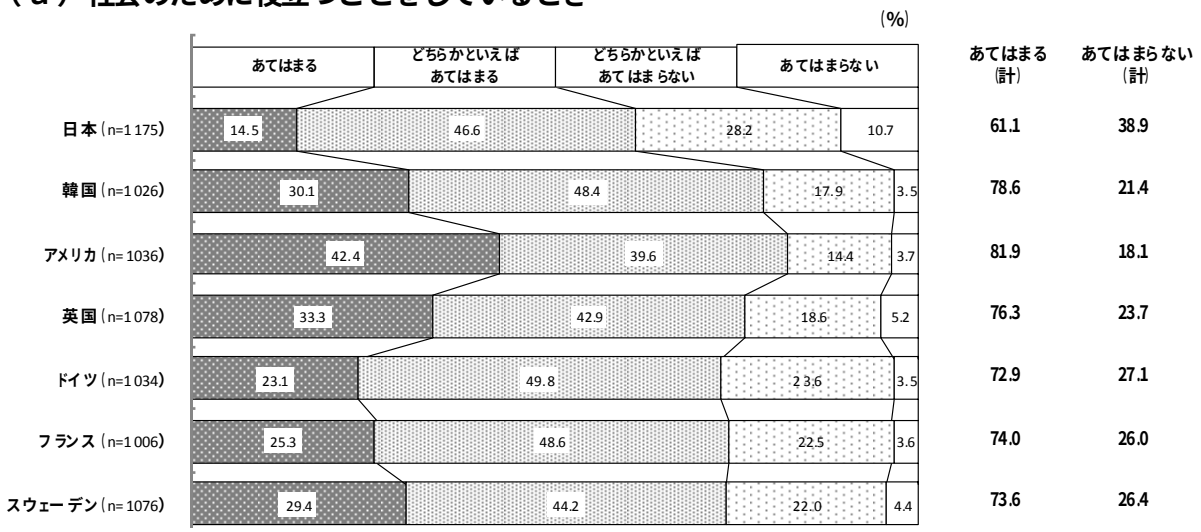


※「仕事に打ち込んでいるとき」は就労者が対象

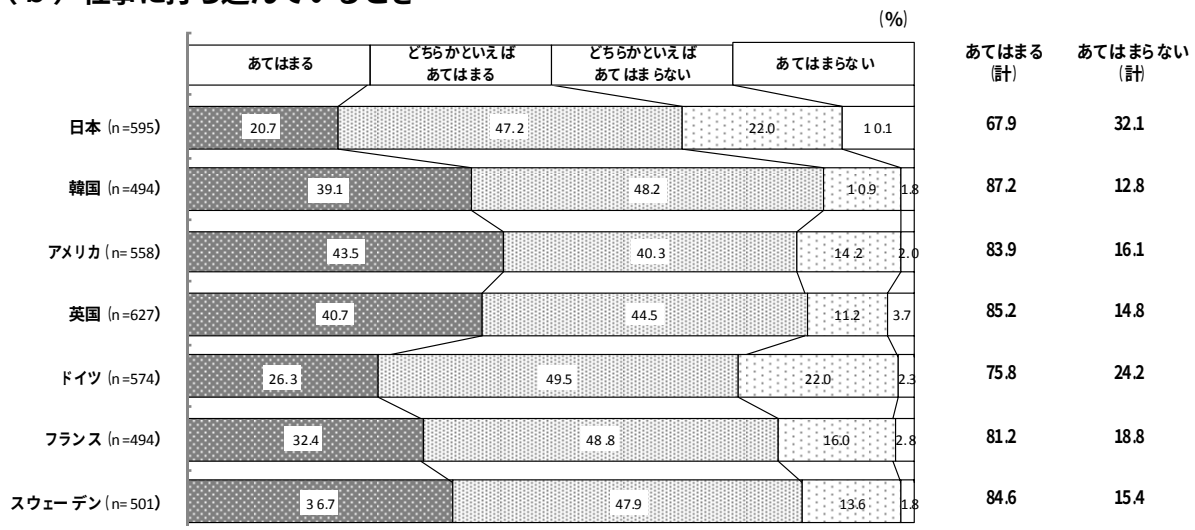
※「恋人といるとき」は事実婚，離死別，未婚で恋人がいる人が対象

【国別】

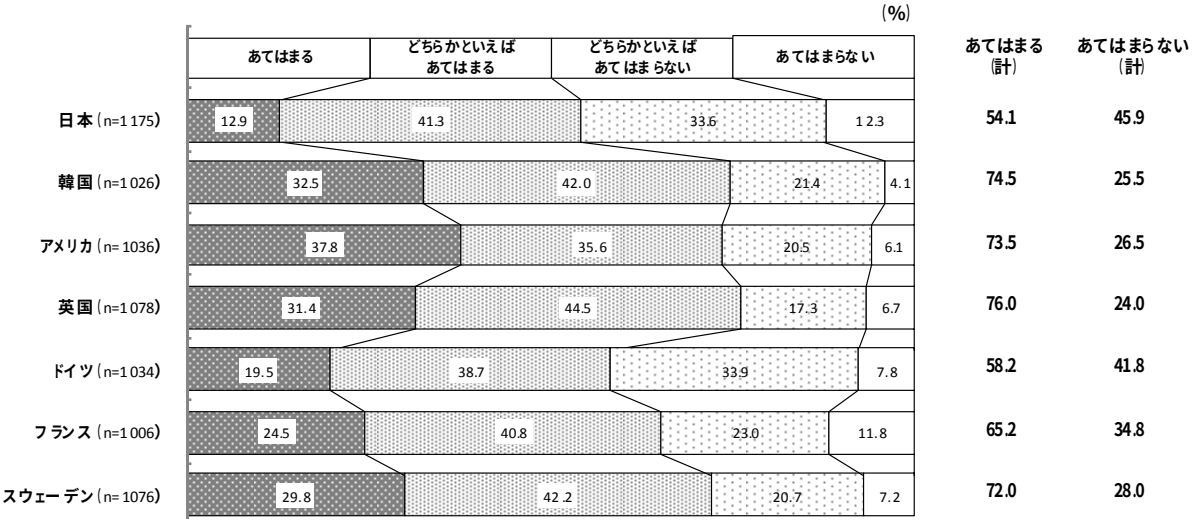
（ａ）社会のために役立つことをしているとき



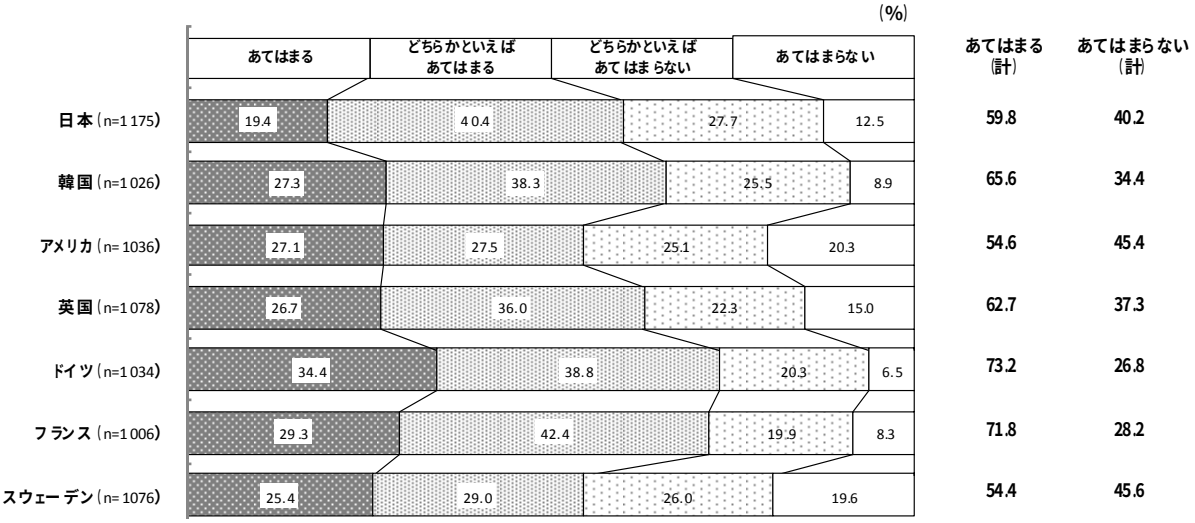
（ｂ）仕事に打ち込んでいるとき



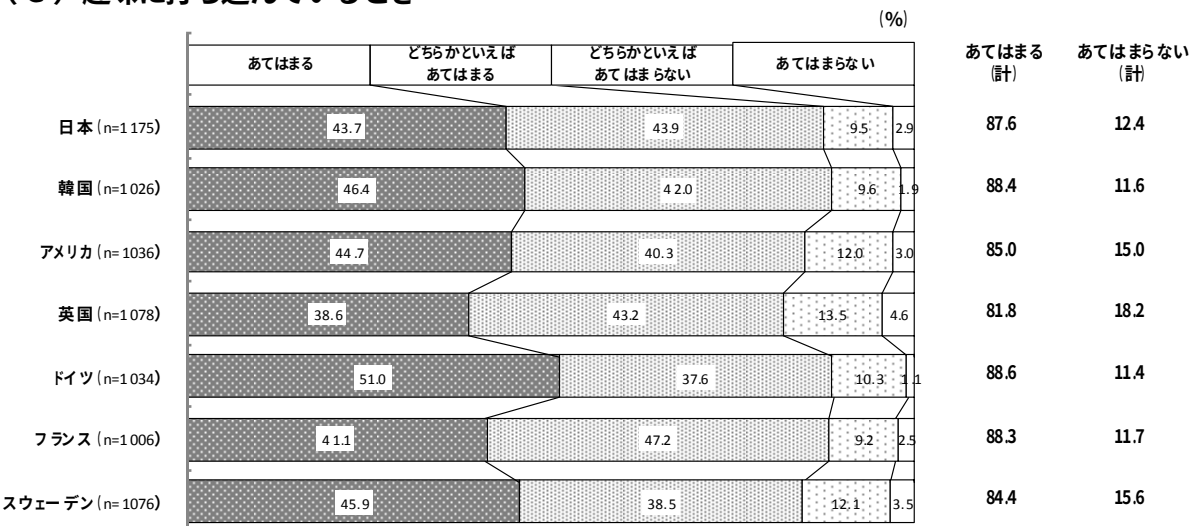
（ｃ）勉強に打ち込んでいるとき



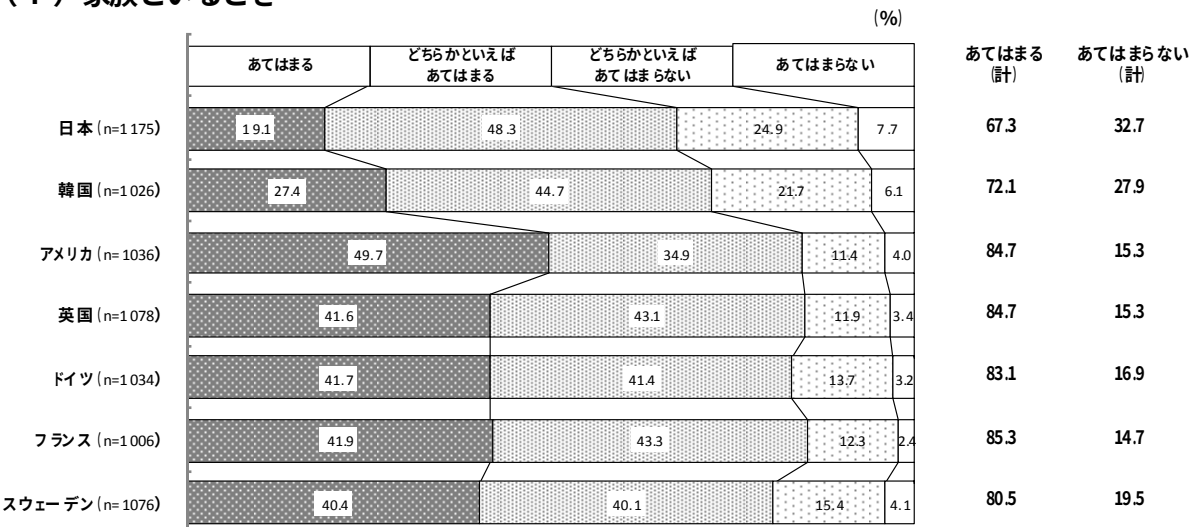
（ｄ）運動やスポーツに打ち込んでいるとき



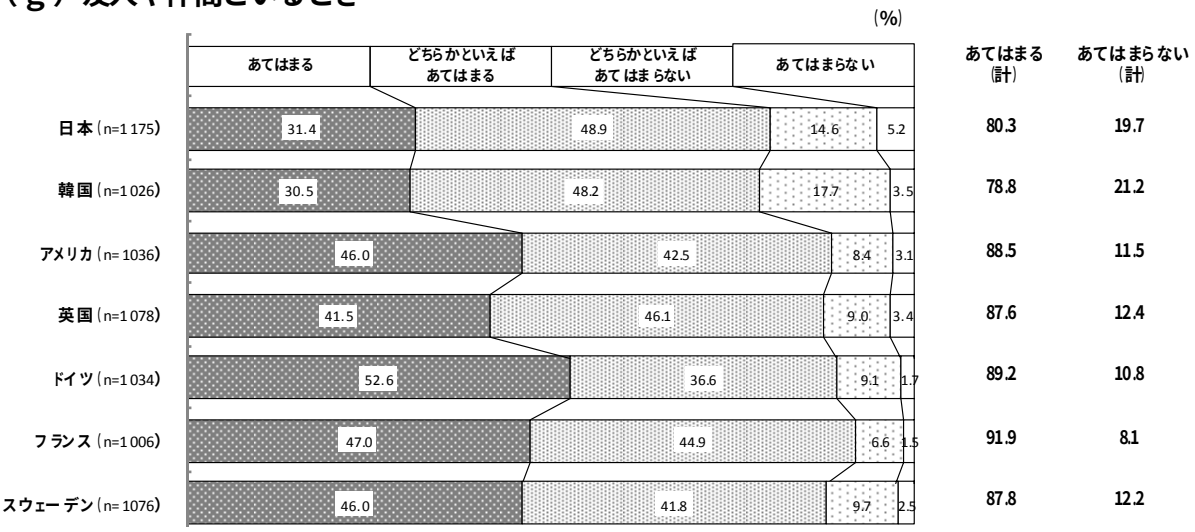
（ｅ）趣味に打ち込んでいるとき



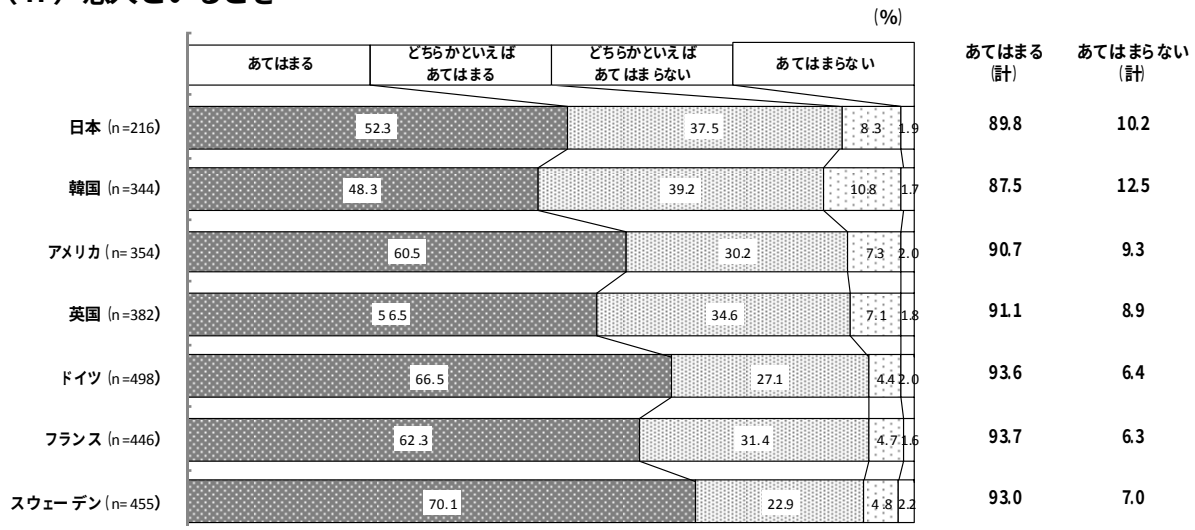
（ｆ）家族といるとき



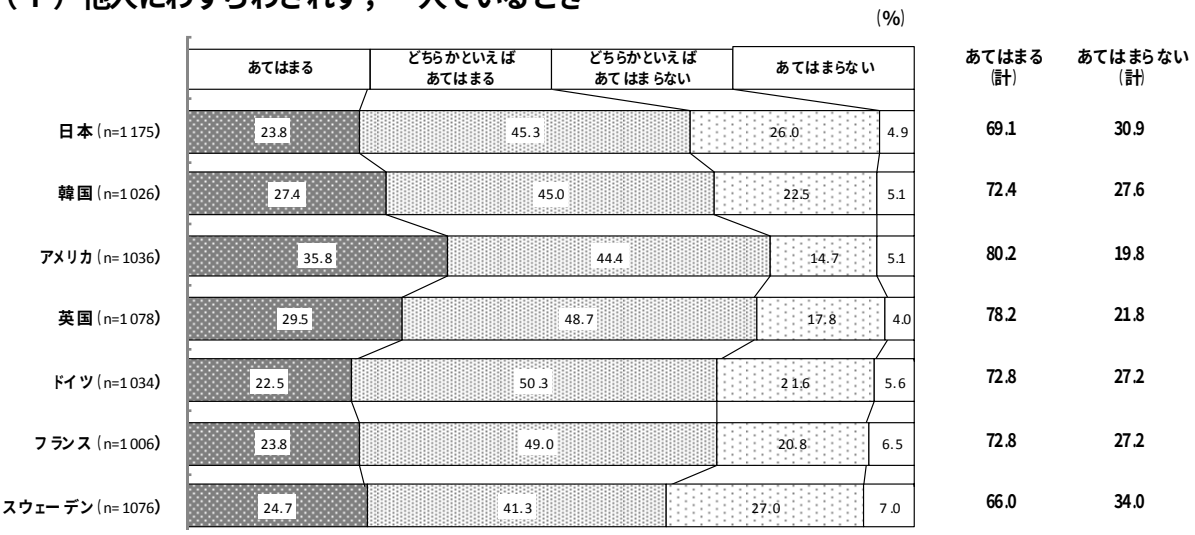
（ｇ）友人や仲間といるとき



（ｈ）恋人といるとき



（ｉ）他人にわずらわされず，一人でいるとき

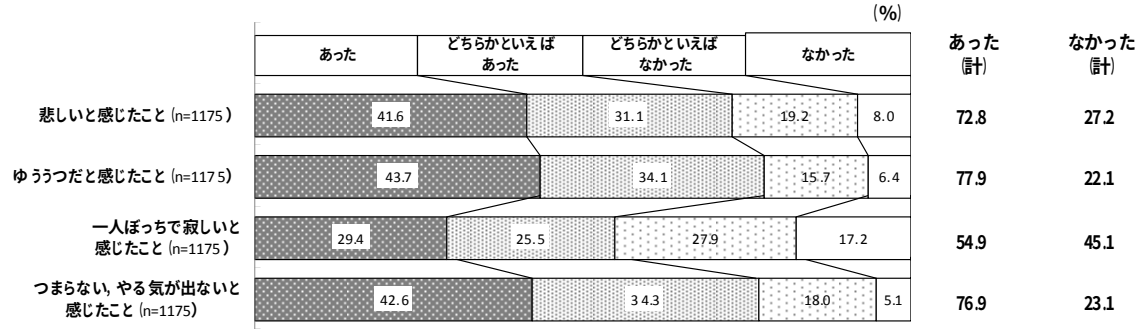


２　悩みや心配ごと

（１）心の状態

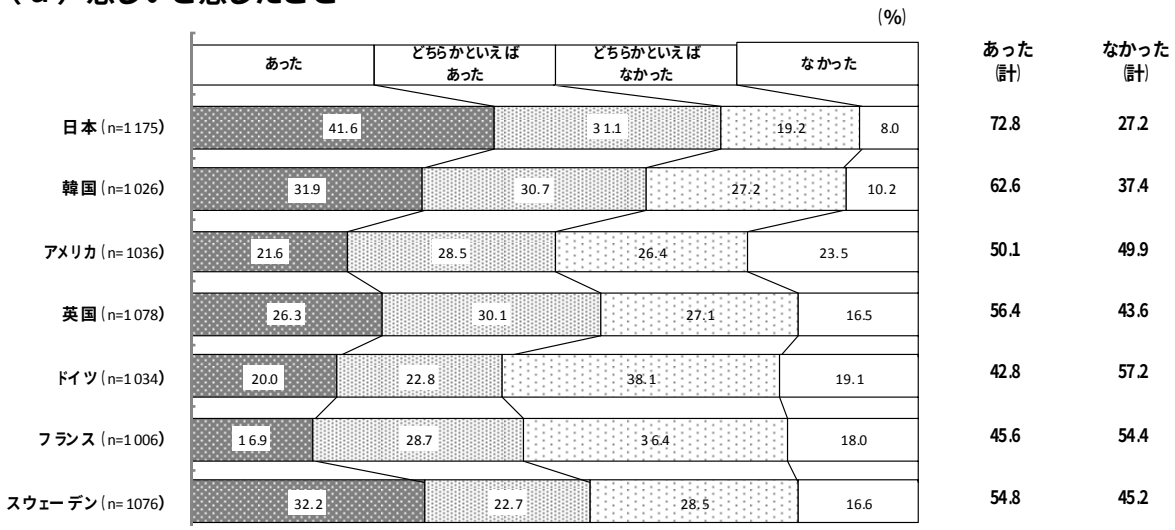
Ｑ４　この１週間のあなたの心の状態についてうかがいます。次のような気分やことがらに関して，あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。（回答それぞれ１つずつ）

この１週間の心の状態を日本の若者に聞いたところ,「ゆううつだと感じたこと」(77.9%),「つまらない，やる気が出ないと感じたこと」（76.9%),「悲しいと感じたこと」（72.8%）の３項目は,『あった』(「あった」＋「どちらかといえばあった」）が７割以上を占めている。

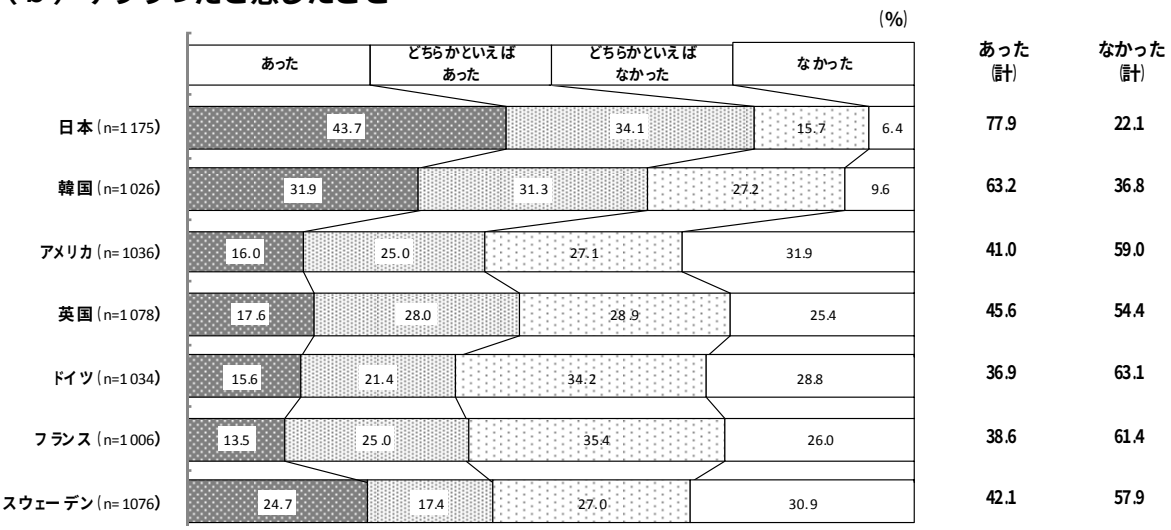


【国別】

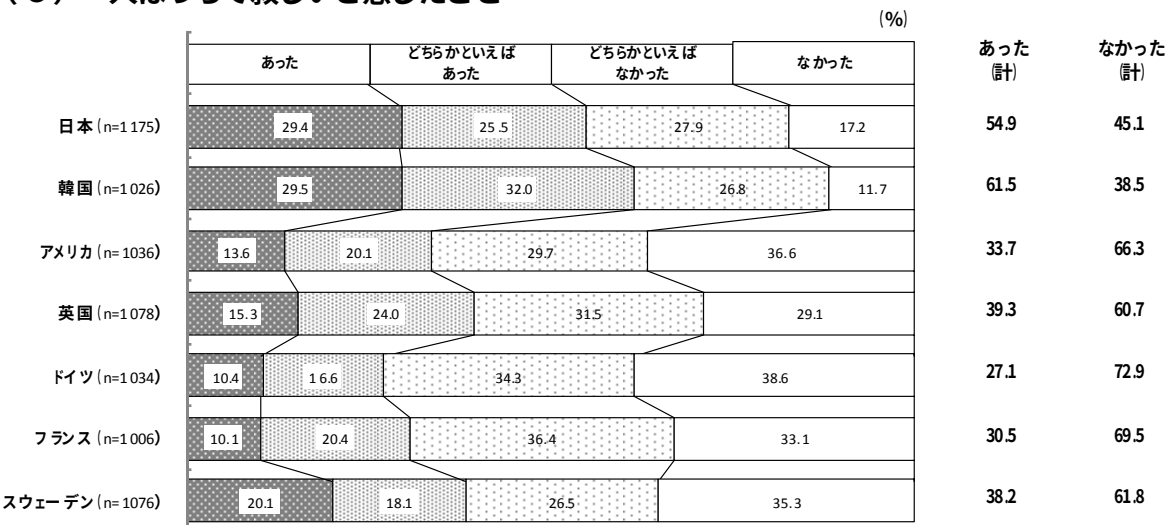
（ａ）悲しいと感じたこと



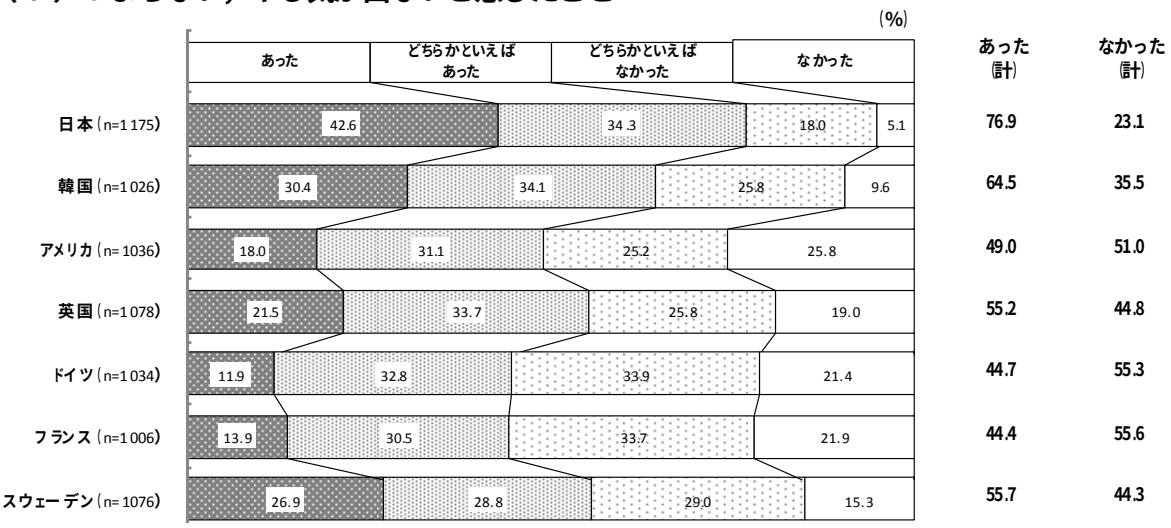
（ｂ）ゆううつだと感じたこと



（ｃ）一人ぼっちで寂しいと感じたこと



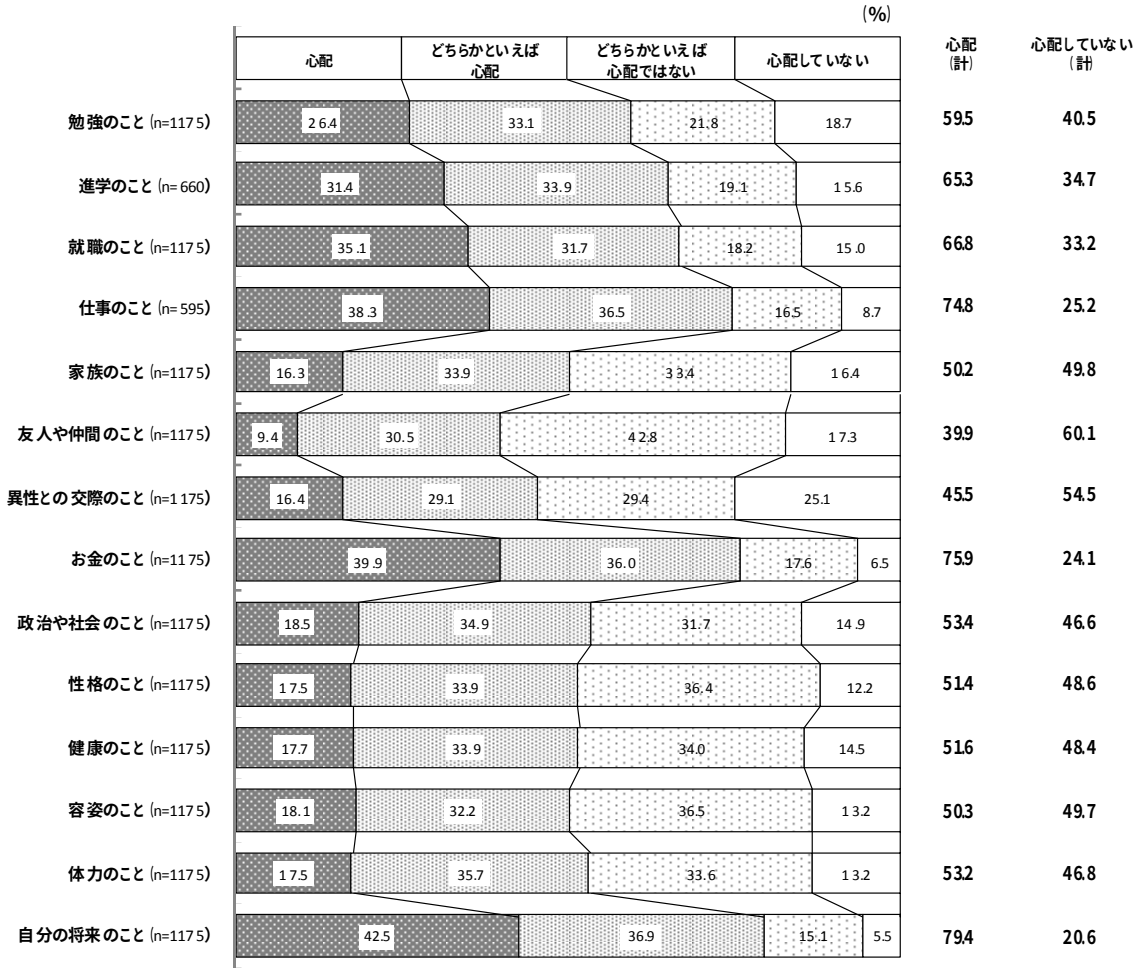
（ｄ）つまらない，やる気が出ないと感じたこと



（２） 悩みや心配事の有無

Ｑ５　現在のあなたの悩みや心配ごとについてうかがいます。あなたは，以下のそれぞれについて，どれくらい心配ですか。あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。（回答はそれぞれ１つずつ）

現在の悩みや心配事の有無を日本の若者に聞いたところ，「自分の将来のこと」（79.4%）「お金のこと」（75.9%），「仕事のこと」（74.8%）等の項目で，『心配』（「心配」＋「どちらかといえば心配」）と答えた割合が高い。

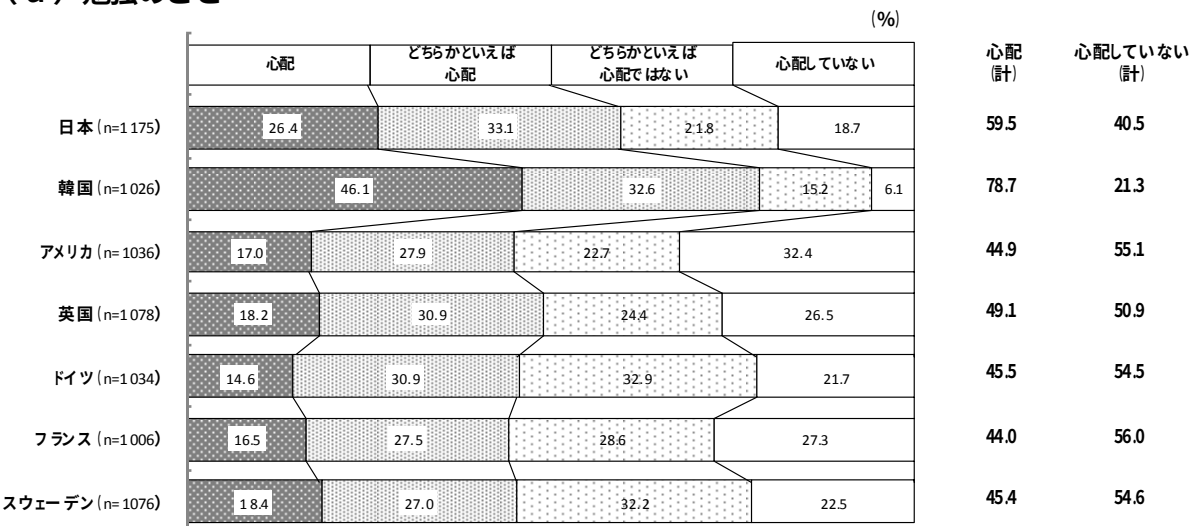


※「進学のこと」は在学中の人が対象

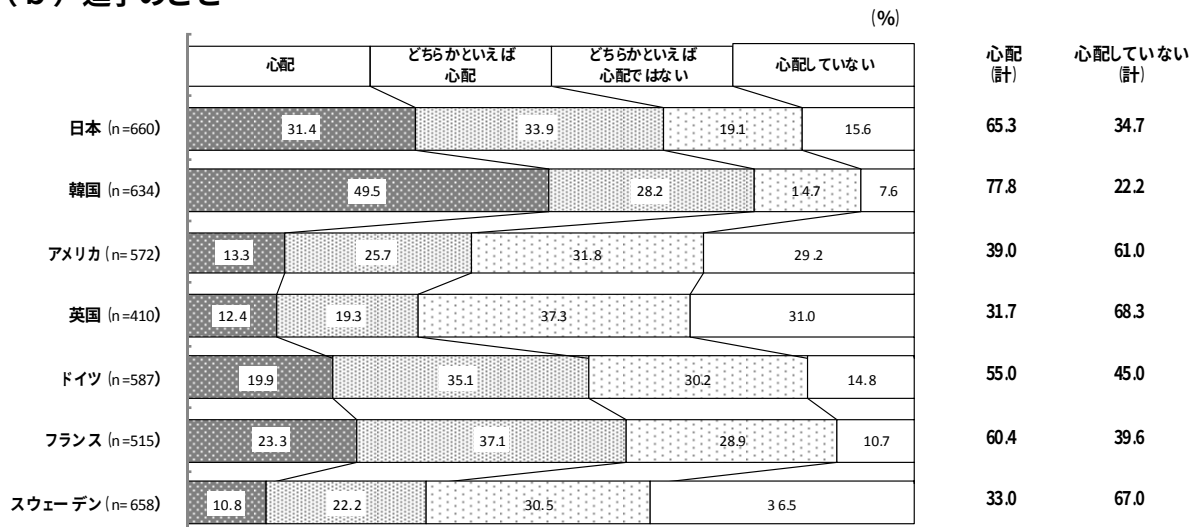
※「仕事のこと」は就労者が対象

【国別】

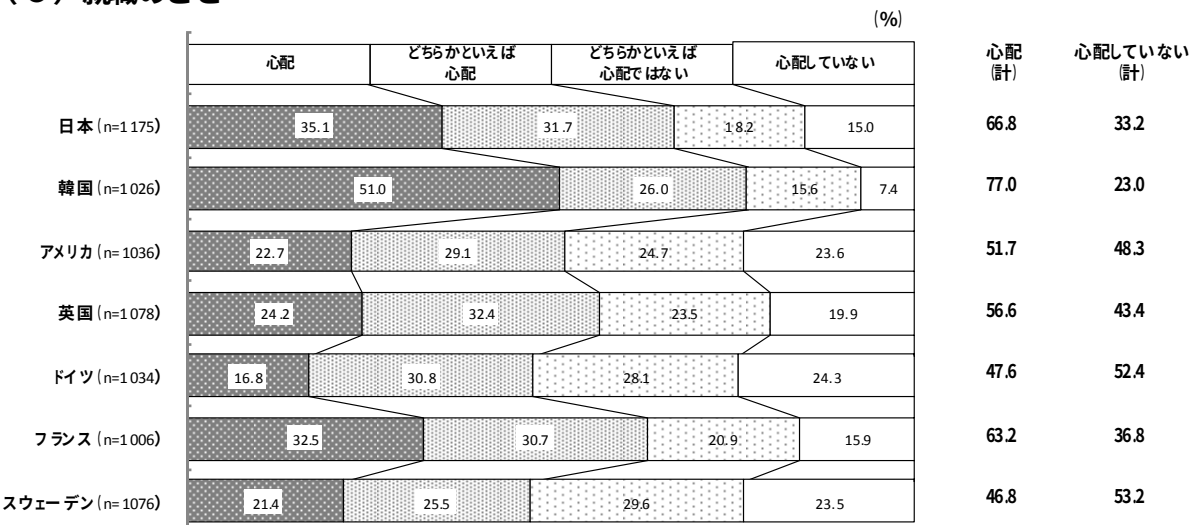
（ａ）勉強のこと



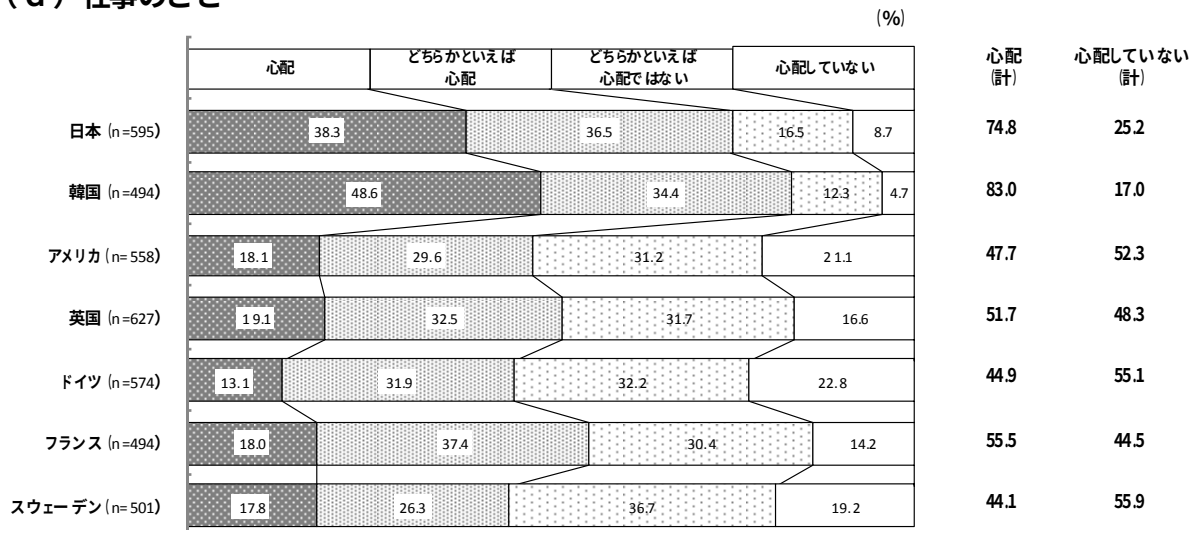
（ｂ）進学のこと



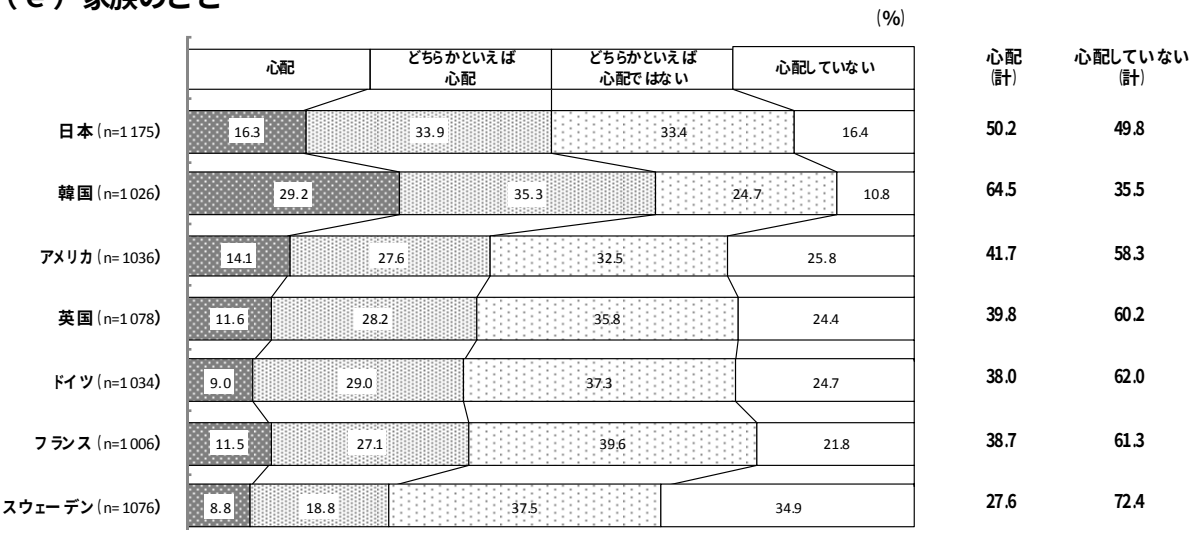
（ｃ）就職のこと



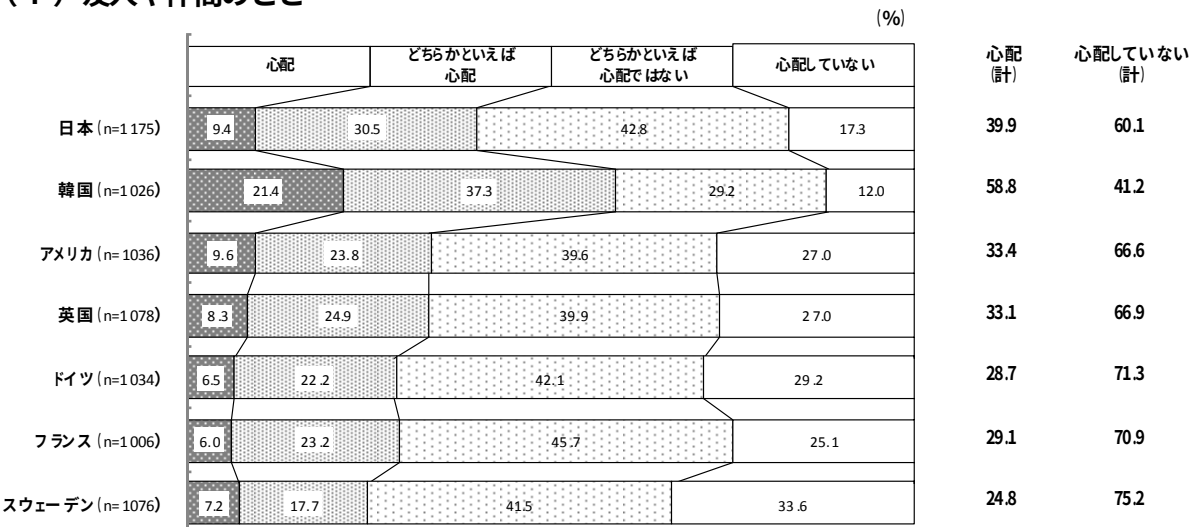
（ｄ）仕事のこと



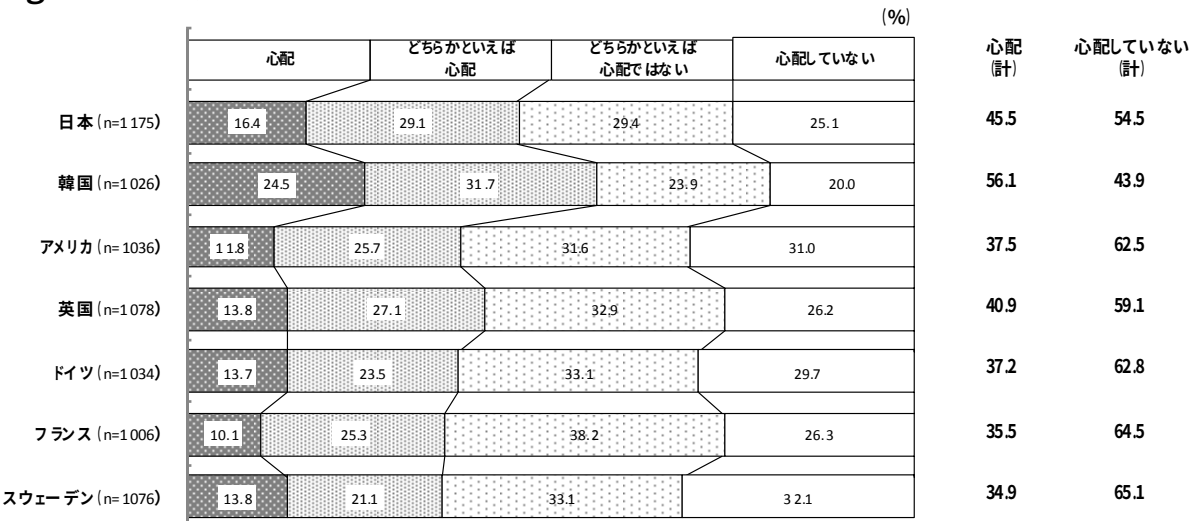
（ｅ）家族のこと



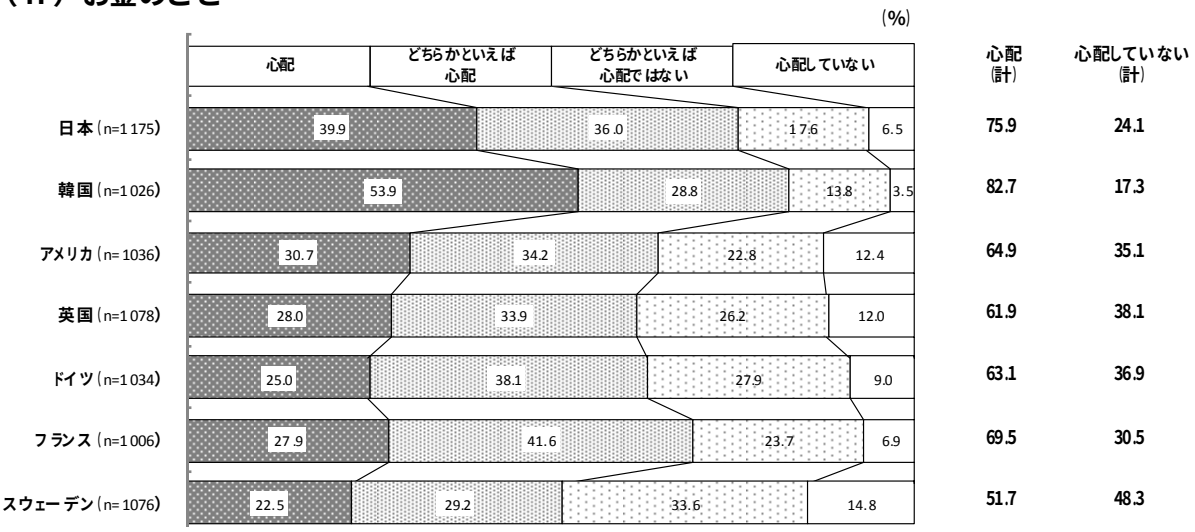
（ｆ）友人や仲間のこと



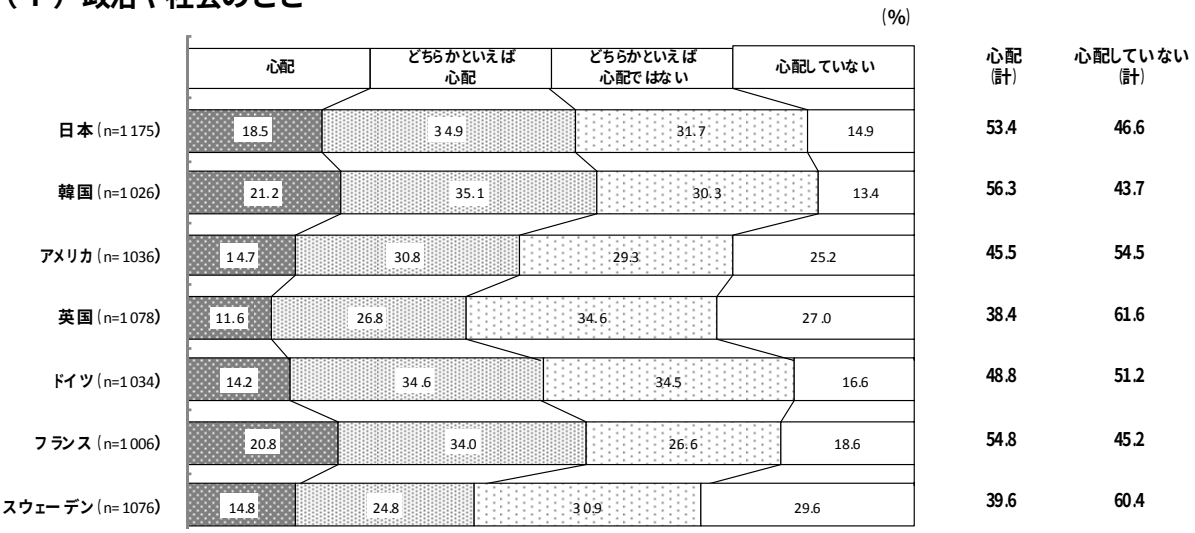
（ｇ）異性との交際のこと



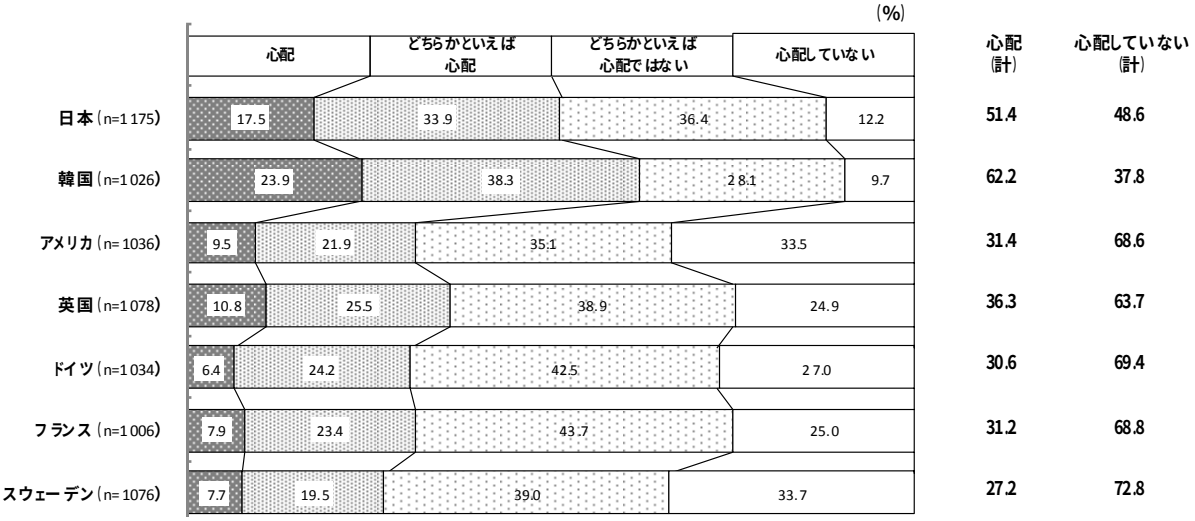
（ｈ）お金のこと



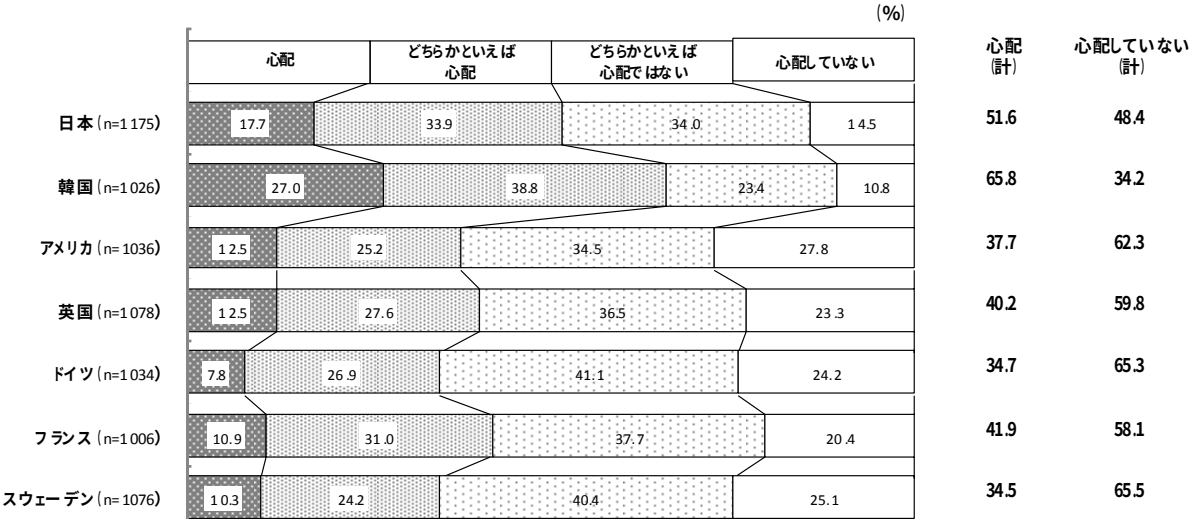
（ｉ）政治や社会のこと



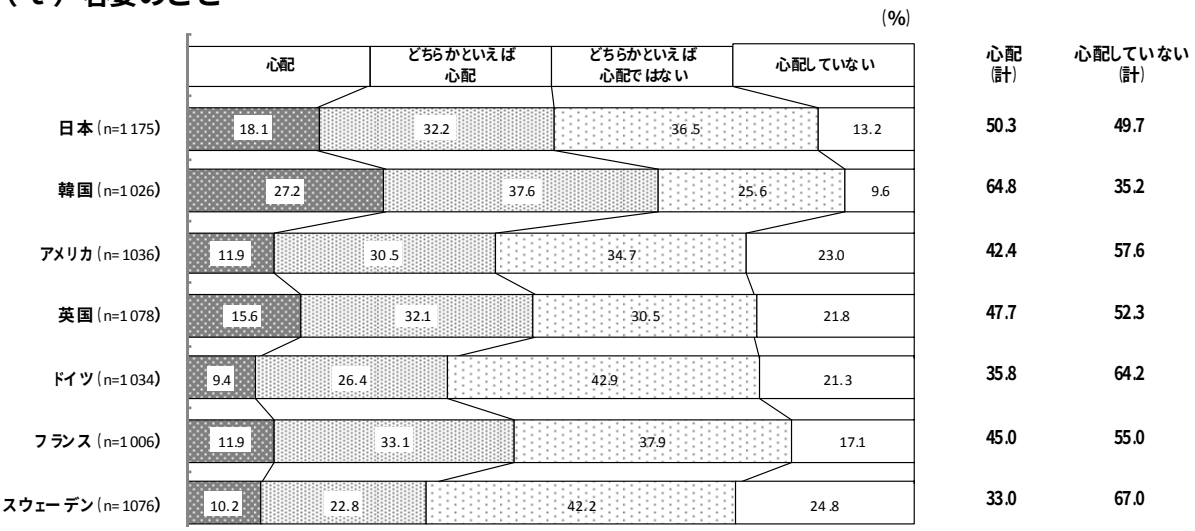
（ｊ）性格のこと



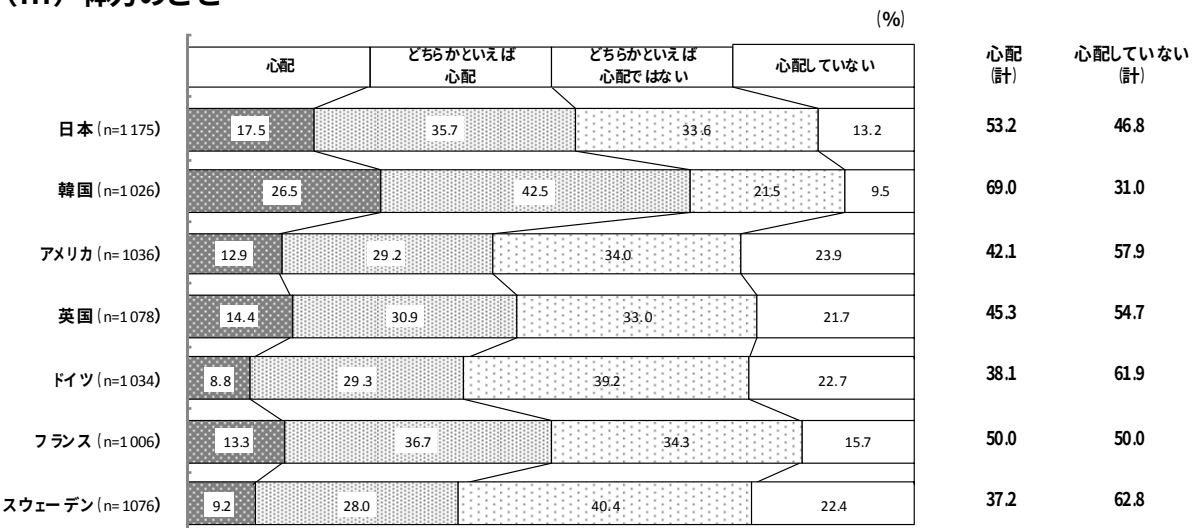
（ｋ）健康のこと



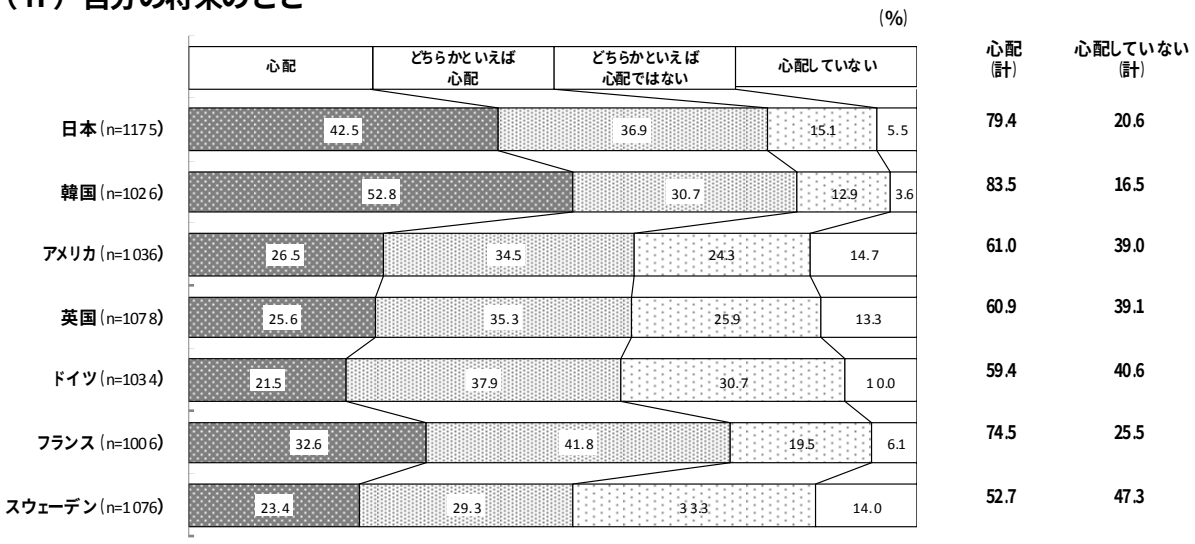
（ｌ）容姿のこと



（m）体力のこと



（n）自分の将来のこと



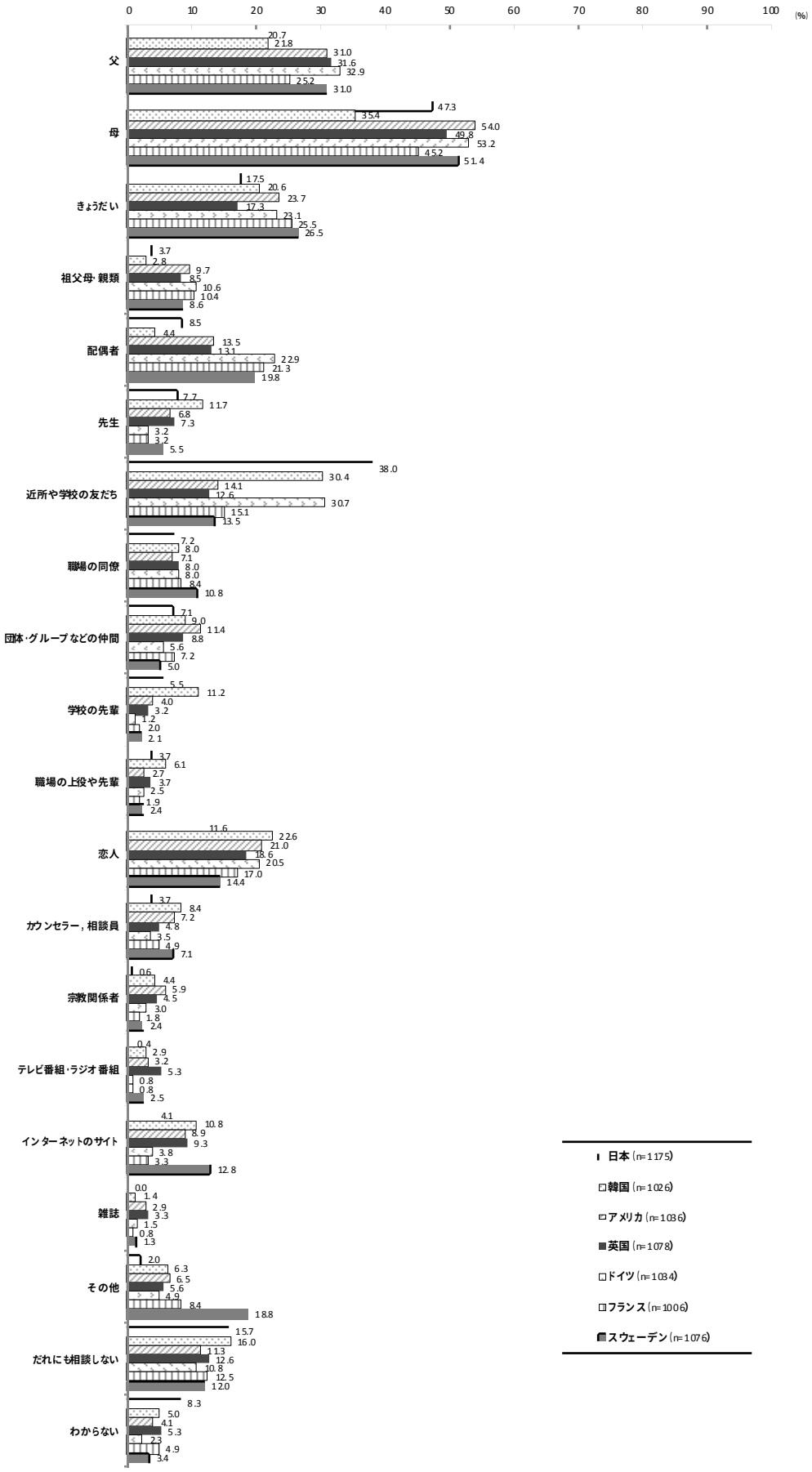
（３） 悩みや心配ごとの相談相手

Ｑ６　あなたは，悩みや心配ごとがあった場合，だれに相談したいと思いますか。この中からあてはまるものを，いくつでも選んでください。（回答はいくつでも）

日本の若者の悩みや心配ごとの相談相手は，「母」（47.3％），「近所や学校の友だち」（38.0％），「父」（20.7％），「きょうだい」（17.5％）の順となっている。

７か国比較で見ると，日本以外の６か国も「母」「父」「きょうだい」といった家族が相談相手となっている場合が多い。それ以外の相談相手としては，「近所や学校の友だち」（韓国 30.4％，ドイツ 30.7％），「恋人」（韓国 22.6％，アメリカ 21.0％，ドイツ 20.5％）が上位にあげられている。また，ドイツ，フランス，スウェーデンでは，それぞれ約２割が「配偶者」（ドイツ 22.9％，フランス 21.3％，スウェーデン 19.8％）を相談相手としている。

なお，７か国とも「だれにも相談しない」人が 15％前後存在している。


0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
(%)
父
20.7
21.8
31.0
31.6
32.9
25.2
31.0
母
47.3
35.4
54.0
49.8
53.2
45.2
51.4
きょうだい
17.5
20.6
23.7
17.3
23.1
25.5
26.5
祖父母・親類
3.7
2.8
9.7
8.5
10.6
10.4
8.6
配偶者
8.5
4.4
13.5
13.1
22.9
21.3
19.8
先生
7.7
11.7
6.8
7.3
3.2
3.2
5.5
近所や学校の友だち
38.0
30.4
14.1
12.6
30.7
15.1
13.5
職場の同僚
7.2
8.0
7.1
8.0
8.0
8.4
10.8
団体・グループなどの仲間
7.1
9.0
11.4
8.8
5.6
7.2
5.0
学校の先輩
5.5
11.2
4.0
3.2
1.2
2.0
2.1
職場の上役や先輩
3.7
6.1
2.7
3.7
2.5
1.9
2.4
恋人
11.6
22.6
21.0
18.6
20.5
17.0
14.4
カウンセラー，相談員
3.7
8.4
7.2
4.8
3.5
4.9
7.1
宗教関係者
0.6
4.4
5.9
4.5
3.0
1.8
2.4
テレビ番組・ラジオ番組
0.4
2.9
3.2
5.3
0.8
0.8
2.5
インターネットのサイト
4.1
10.8
8.9
9.3
3.8
3.3
12.8
雑誌
0.0
1.4
2.9
3.3
1.5
0.8
1.3
その他
2.0
6.3
6.5
5.6
4.9
8.4
18.8
だれにも相談しない
15.7
16.0
11.3
12.6
10.8
12.5
12.0
わからない
8.3
5.0
4.1
5.3
2.3
4.9
3.4
日本（n=1175）
韓国（n=1026）
アメリカ（n=1036）
英国（n=1078）
ドイツ（n=1034）
フランス（n=1006）
スウェーデン（n=1076）

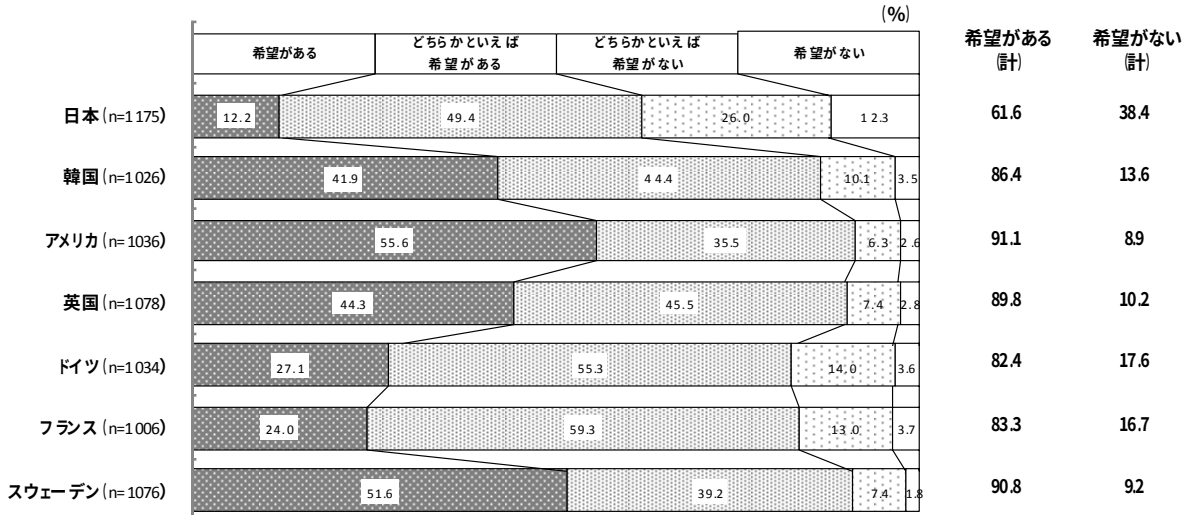
３　将来像

（１） 将来への希望

Ｑ７　あなたは，自分の将来について明るい希望を持っていますか。あてはまるものを１つ選んでください。（回答は１つ）

日本の若者に将来への希望を聞いたところ，『希望がある』と答えたのは 61.6%（「希望がある」12.2%＋「どちらかといえば希望がある」49.4%）である。

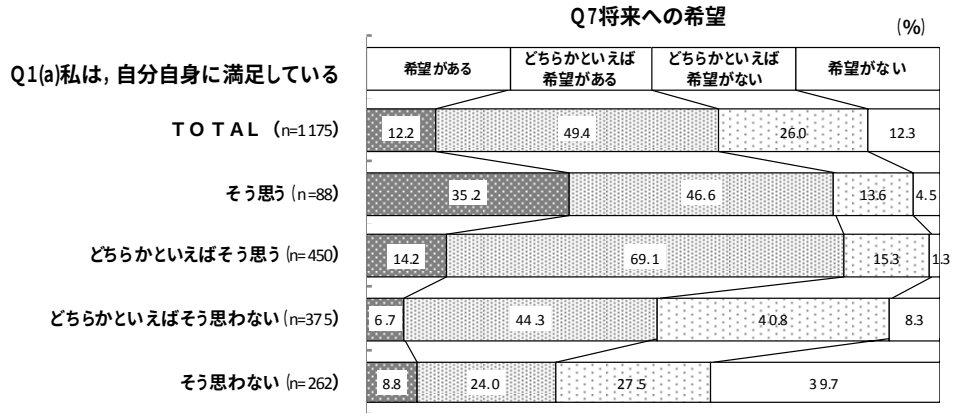
７か国比較で見ると，アメリカ（91.1%）とスウェーデン（90.8%）は『希望がある』と回答する割合が９割以上, 英国（89.8%）, 韓国（86.4%）, フランス（83.3%）, ドイツ（82.4%）も『希望がある』が８割以上を占めており，日本が最も低い割合となっている。

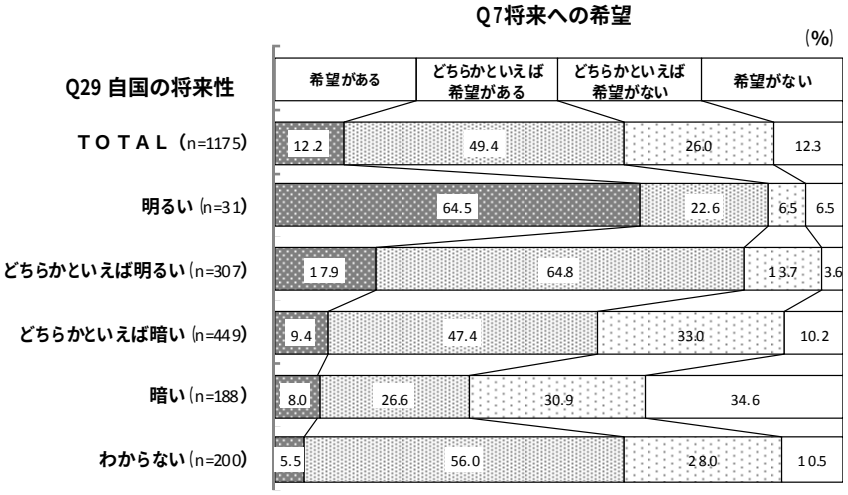


【分析】　『将来への希望』の意識

（将来への希望に関連する自分への満足感）

日本の若者が感じている将来への希望は,『自分への満足感』や『自国の将来性』と関連していることが考えられる。『自分に満足している』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」），または『自国の将来は明るい』（「明るい」＋「どちらかといえば明るい」）とする若者は,『将来の希望がある』（「希望がある」＋「どちらかといえば希望がある」）と感じている割合が高い傾向にある。





『Q7 将来への希望』との相関

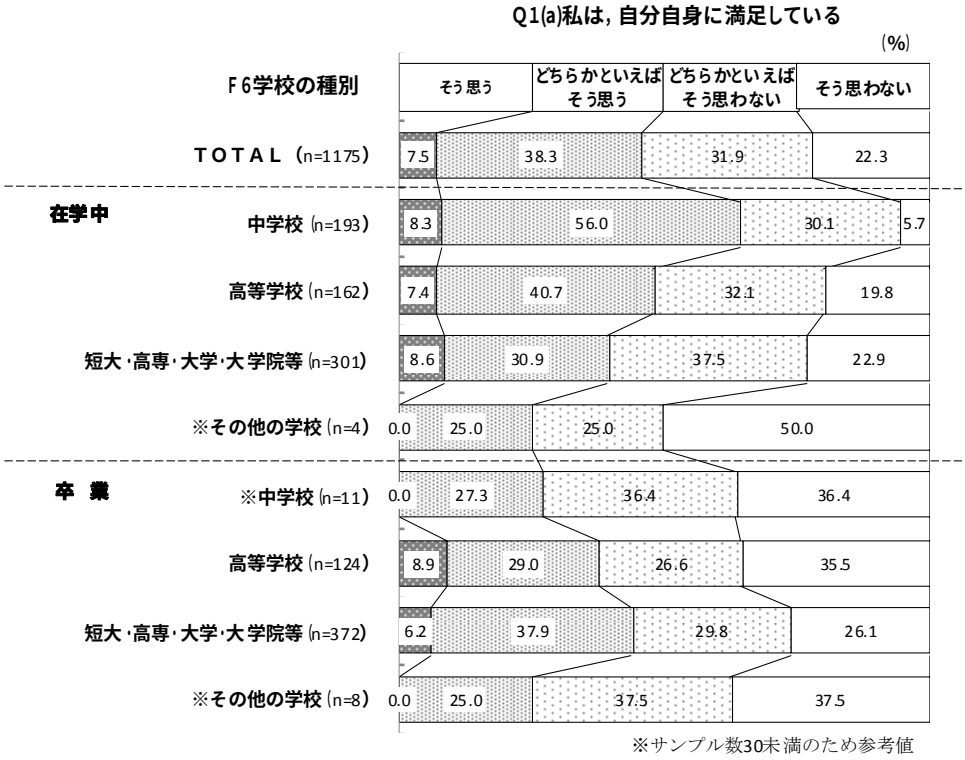
Q1(a) 自分自身に満足	.45	**
Q29 自国の将来性	.26	**

* 有意水準<.05, ** 有意水準<.01

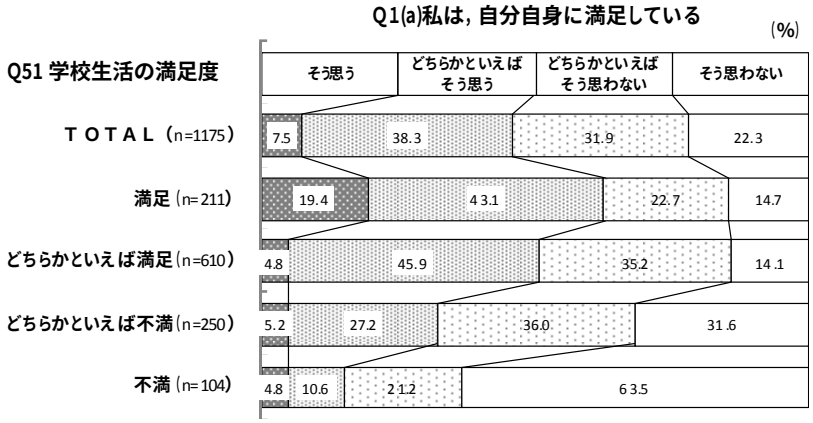
『将来への希望』との相関は，『自分への満足感』が特に強いことから，『自分への満足感』について関連が想定される内容を確認する。

（自分への満足感に関連する内容）

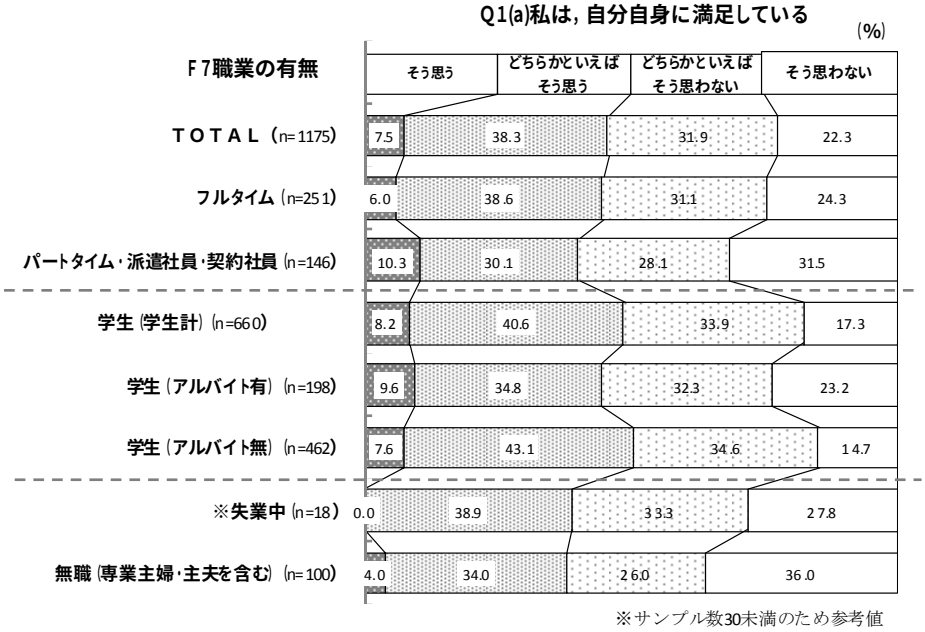
学歴別にみると，『自分への満足感』は，在学中では年齢が低いほど高く，卒業者では学歴が高いほど高い。また，学校生活の満足度別では，『満足』（「満足」＋「どちらかといえば満足」）とした若者のほうが『自分への満足感』も高い。学歴とともに，学校生活をいかに満足して過ごせるかが関連しているといえる。



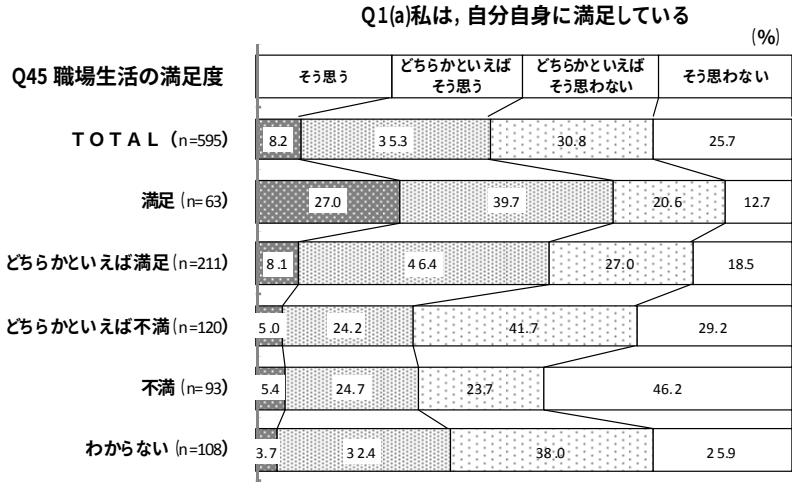
※サンプル数30未満のため参考値



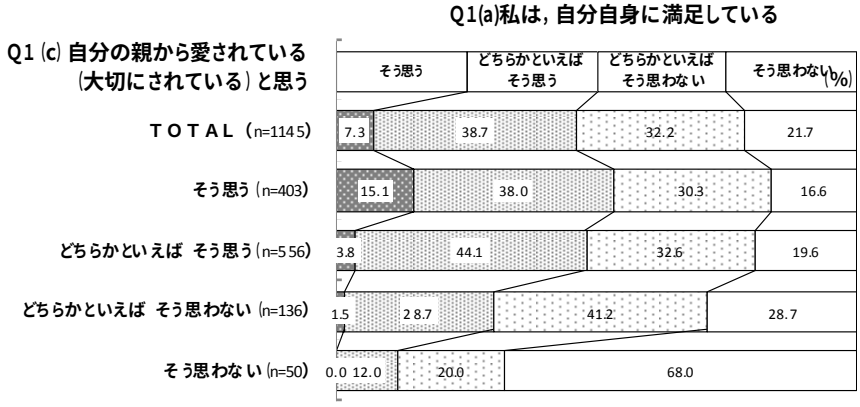
また，職業別にみた場合，非正規雇用（パートタイム・派遣社員・契約社員）や無職の状態にある若者ほど自分自身へ満足しているとは『思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）割合が高めである。また，職場生活の満足度別にみると，『満足』（「満足」＋「どちらかといえば満足」）とした若者のほうが自分への満足度も高く，働き方や職場生活で感じる満足感との関連もうかがえる。

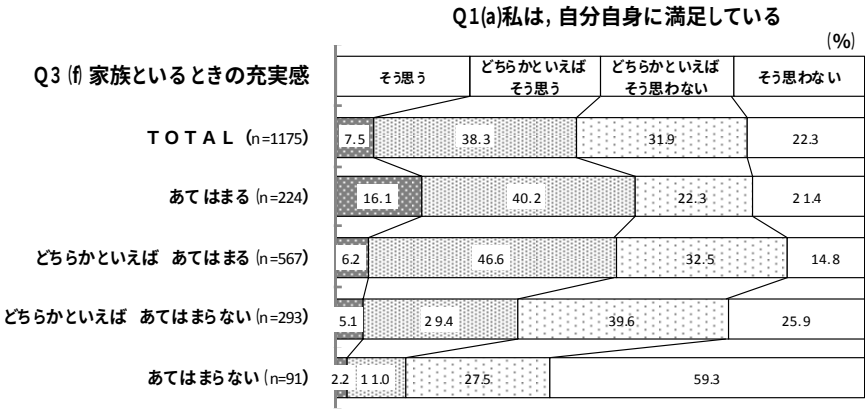


※サンプル数30未満のため参考値



そして，家族との関係で，自分の親から愛されている（大切にされている）と思う若者ほど，自分自身へ満足している傾向にある。また，家族といると充実している（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と思う若者も自分自身への満足感が高いことから，家族との関係や生活も関連がうかがえる。





「Q1(a)自分自身への満足感」との相関

Q51 学校生活の満足度	.23	**
Q45 職場生活の満足度	.33	**
Q1(c) 親から愛されていると思う	.26	**
Q3(f) 家族といるときの充実感	.26	**

* 有意水準<.05，** 有意水準<.01

日本の若者が将来に対する希望を持てるようにするための一つとして，「自分への満足感」を高めることが重要といえる。「自分への満足感」には，学校・職業・家庭それぞれの生活の満足度が関連していることがうかがえることから，子育てや家庭教育に対する支援，学校生活の満足度を高めるようなきめ細やかで質の高い教育，就労支援等に係る取組が充実することが期待される。

＜参考＞

「Ｑ７将来への希望」を被説明変数とし，「Ｑ１（a）私は，自分自身に満足している」及び「Q29 自国の将来性」を説明変数とした回帰分析結果を以下に示す。

【将来への希望や，自尊感情･自己肯定感の低さの関連（1175 サンプル）】

説明変数	被説明変数：Q7　将来への希望			
	係数推定値	標準誤差	*t*値	*p*値
Q１　自分についてのイメージ（a）私は、自分自身に満足している	0.413 **	0.025	15.836	0.000
Q２９　自国の将来性	0.184 **	0.021	7.045	0.000
自由度調整済み決定係数	0.232			
*F*値	176.742　(0.000)			

※有意水準１％で有意のものは**で示している。
※自由度調整済み決定係数…説明変数が被説明変数のどれくらいを説明できるかを表す値。0 から 1 の間の値を取り，1 に近いほど説明できる割合（説明力）が高い。
※*F*値…説明変数で被説明変数を説明することの妥当性を示す値。

２つの説明変数の係数推定値はともに有意水準１％で有意，自由度調整済み決定係数は 0.232，*F*値は 176.742 である。係数はともに正で，自分自身に対する満足度が高く，自国の将来は明るいと考えている者は，自身の将来に対しても希望を持っていることがうかがえる。

係数推定値が高い「Ｑ１（a）私は，自分自身に満足している」については，関連する要因を検討するために，さらに以下のとおり回帰分析を行った。

【自分自身に対する満足度に関連する要因の検討（学生 660 サンプル）】

説明変数	被説明変数：Q1（a）私は、自分自身に満足している			
	係数推定値	標準誤差	*t*値	*p*値
Q５１　学校生活の満足度	0.270 **	0.041	7.319	0.000
Q３　充実感（f）家族といるとき	0.153 **	0.044	3.849	0.000
F６　学校の種別	0.176 **	0.036	4.927	0.000
Q１　自分についてのイメージ（c）自分の親から愛されている（大切にされている）と思う	0.096 *	0.047	2.393	0.017
自由度調整済み決定係数	0.183			
*F*値	37.110　(0.000)			

【自分自身に対する満足度に関連する要因の検討（既卒者 515 サンプル）】

説明変数	被説明変数：Q1（a）私は、自分自身に満足している			
	係数推定値	標準誤差	*t*値	*p*値
Q５１　学校生活の満足度	0.201 **	0.054	3.873	0.000
Q３　充実感（f）家族といるとき	0.112 *	0.057	2.021	0.044
F６　学校の種別	-0.014	0.084	-0.288	0.774
Q１　自分についてのイメージ（c）自分の親から愛されている（大切にされている）と思う	0.087	0.059	1.601	0.110
Q４５　職場生活の満足度	0.229 **	0.040	4.714	0.000
自由度調整済み決定係数	0.184			
*F*値	18.368　(0.000)			

※有意水準１％で有意のものは**，有意水準５％で有意のものは*で示している。
※「Q45　職場生活の満足度」は就労者のみ回答する設問であり，専業主婦・主夫，無職等の場合は無回答であるため，ペアごとに除外して算出している。

学生と既卒者に分けて，それぞれ回帰分析を行った。

学生の場合，「Q51 学校生活の満足度」，「Ｑ３（f）家族といるときの充実感」，「Ｆ６学校の種別」の３つの説明変数の係数推定値は有意水準１％で有意，「Ｑ１（c）自分の親から愛されている（大切にされている）と思う」の係数推定値は有意水準５％で有意である。

自由度調整済み決定係数は 0.183, F値は 37.110 となっている。係数はいずれも正で，学校生活の満足度や家族といるときの充実感，自分の親から愛されているという実感のある者は，自分自身に対しても満足感を持ちやすいことがうかがえる。

また，学校種別との関連を見ると，中学生では自分自身に対する満足度が比較的高いものの，年齢が上がるにつれて低下していく傾向にある。

一方, 既卒者の場合は,「Q51 学校生活の満足度」,「Q45 職場生活の満足度」,「Q３（f）家族といるときの充実感」の３つの説明変数の係数推定値がいずれも有意水準１％で有意であり，自由度調整済み決定係数は 0.184, F値は 18.368 である。

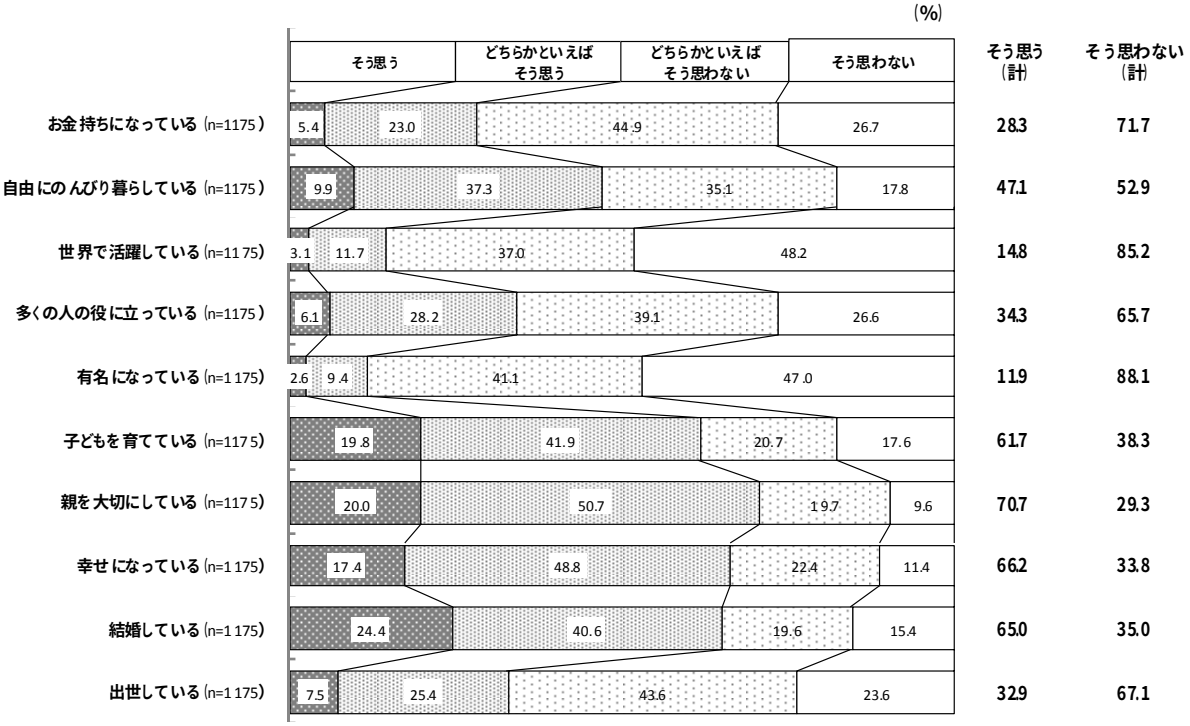
有意な係数はいずれも正で，過去の学校生活や職場生活に満足していること，家族といるときに充実感を感じていることが，自分自身に対する満足度に関連している。

なお，いずれの回帰分析結果も決定係数の値が低いため，参考値とする。

（２） 将来イメージ

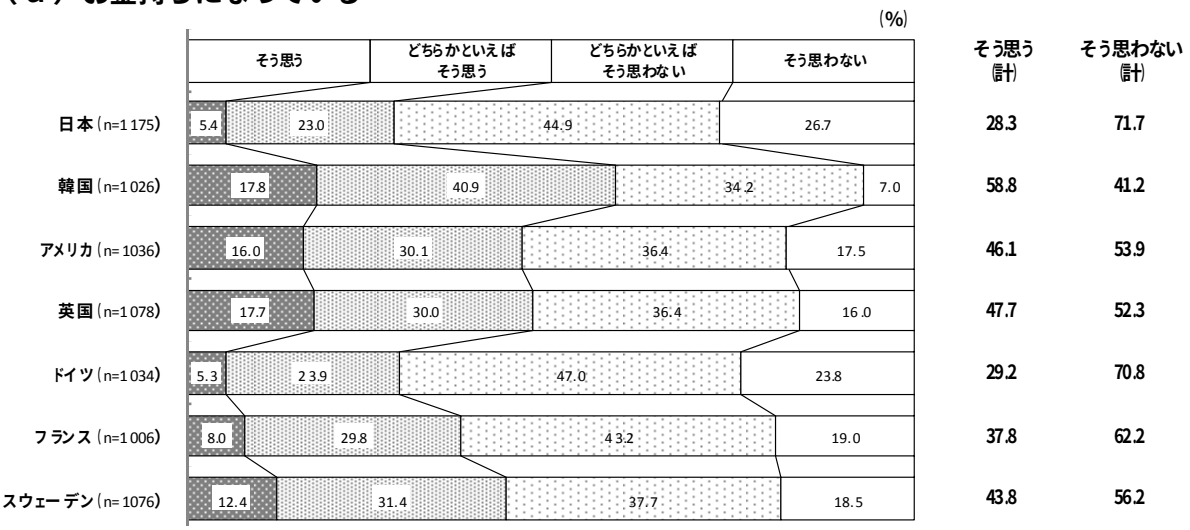
Ｑ８　あなたが 40 歳くらいになったとき，どのようになっていると思いますか。それぞれについて，あてはまるものを１つ選んでください。(回答はそれぞれ１つずつ)

日本の若者に将来のイメージを聞いたところ,『そう思う』の割合は「親を大切にしている」が 70.7%（「そう思う」20.0%＋「どちらかといえばそう思う」50.7%）と最も高く，以下,「幸せになっている」（66.2%),「結婚している」（65.0%),「子どもを育てている」（61.7%）の順である。

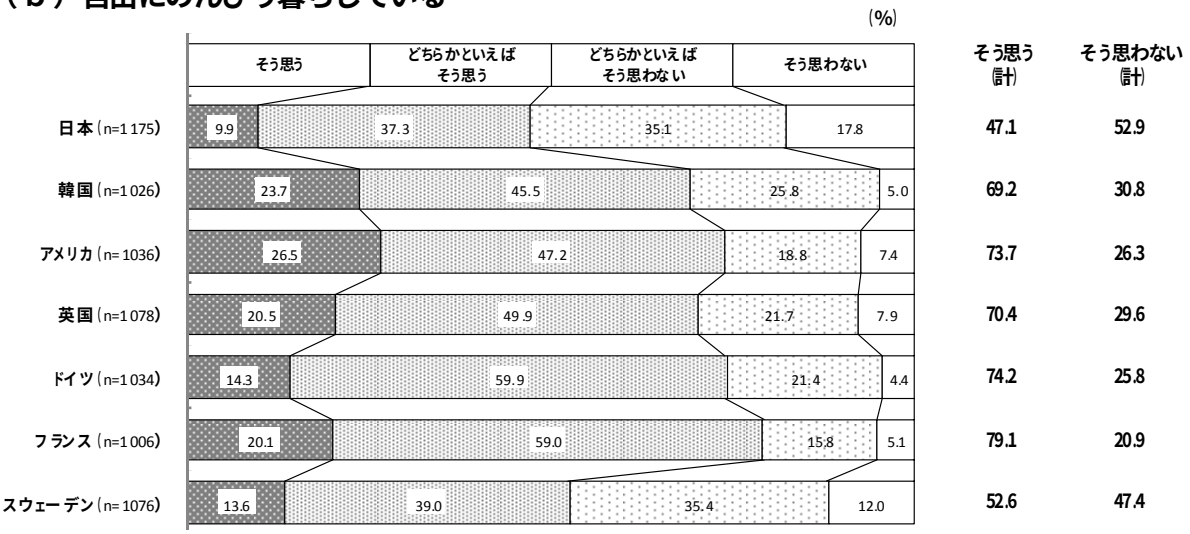


【国別】

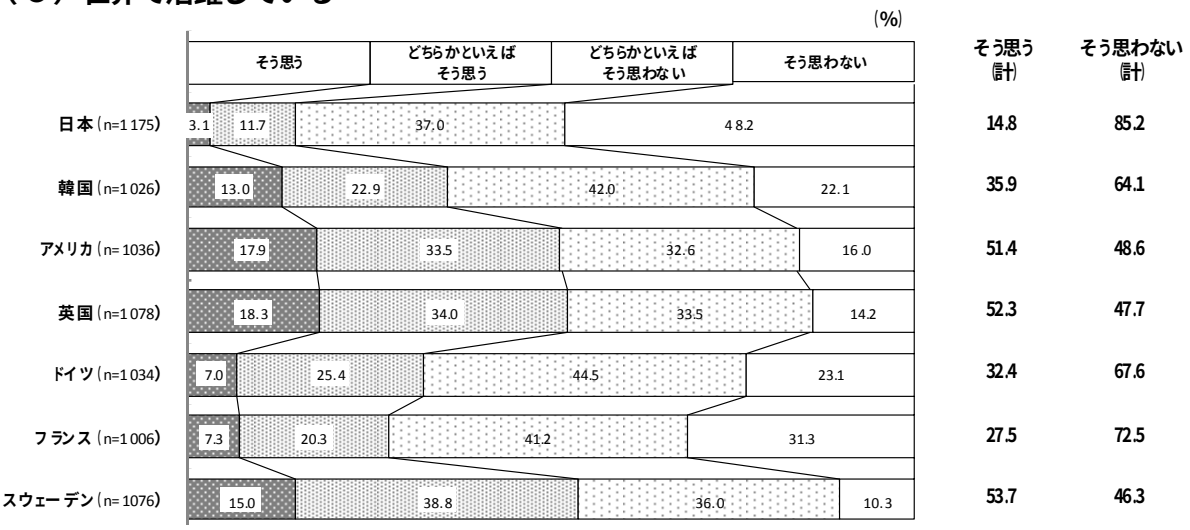
（ａ）お金持ちになっている



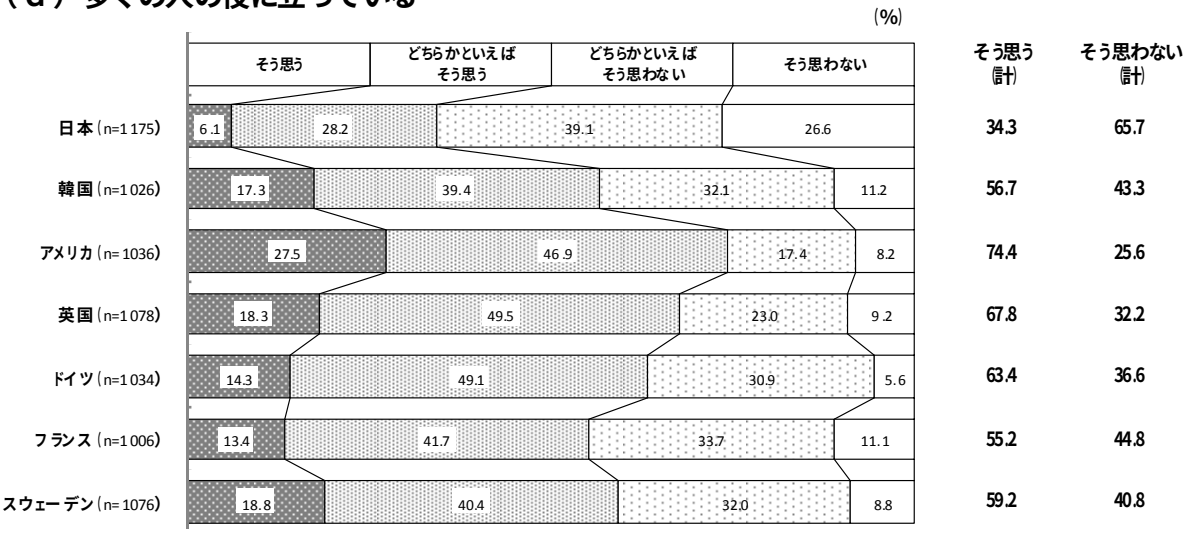
（ｂ）自由にのんびり暮らしている



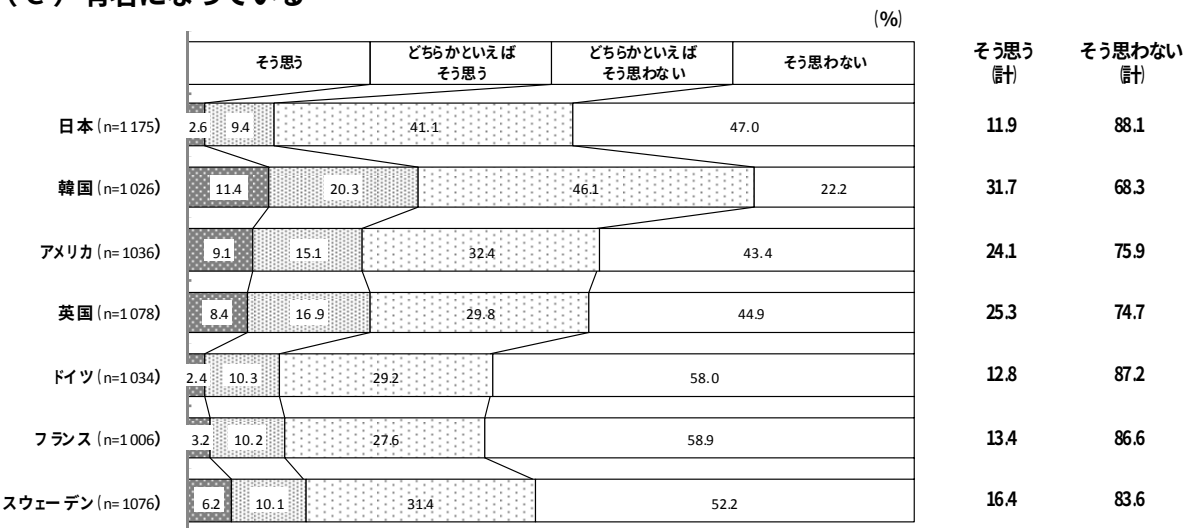
（ｃ）世界で活躍している



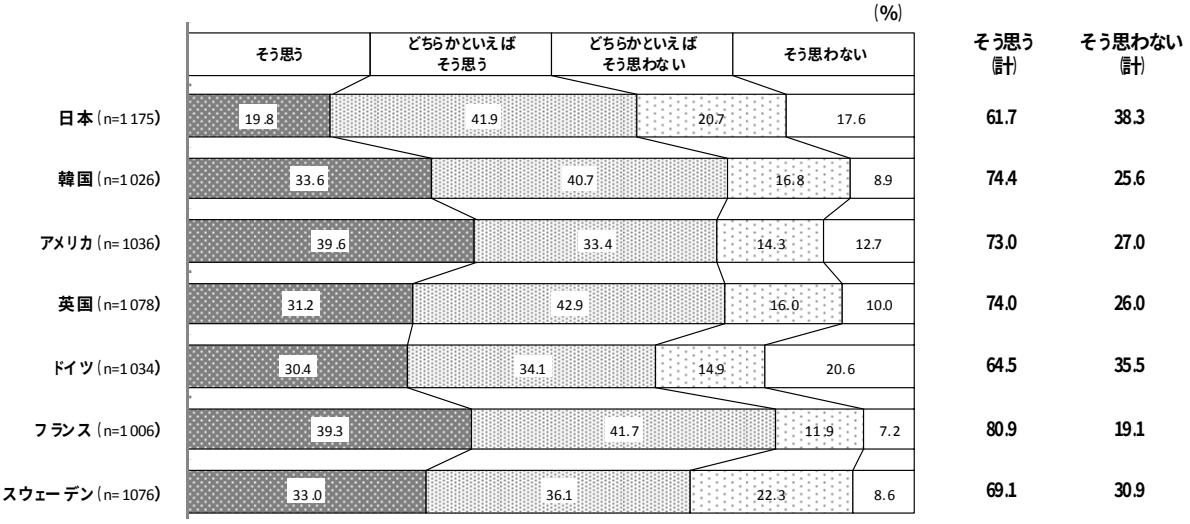
（ｄ）多くの人の役に立っている



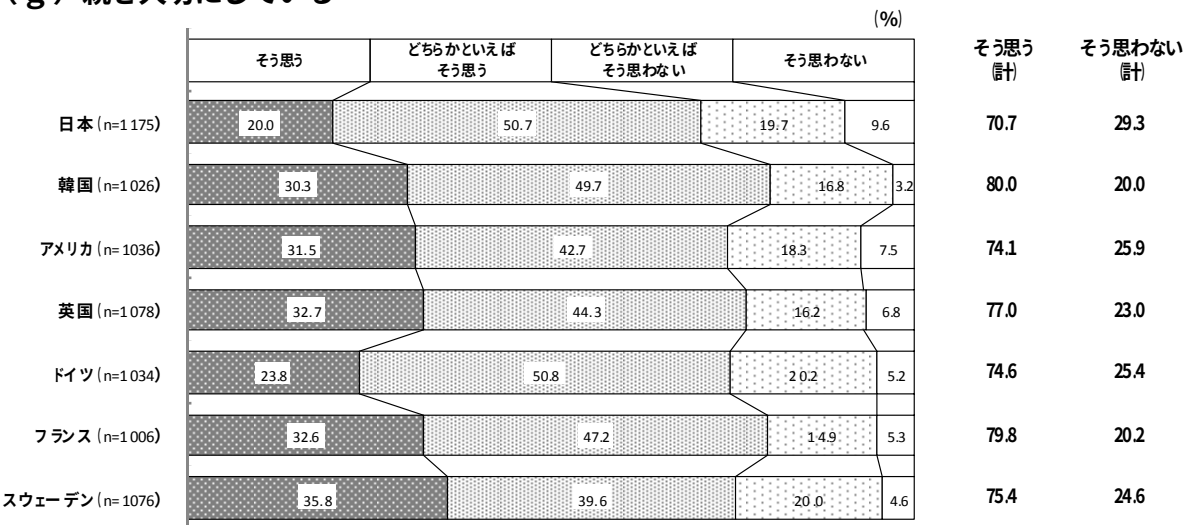
（ｅ）有名になっている



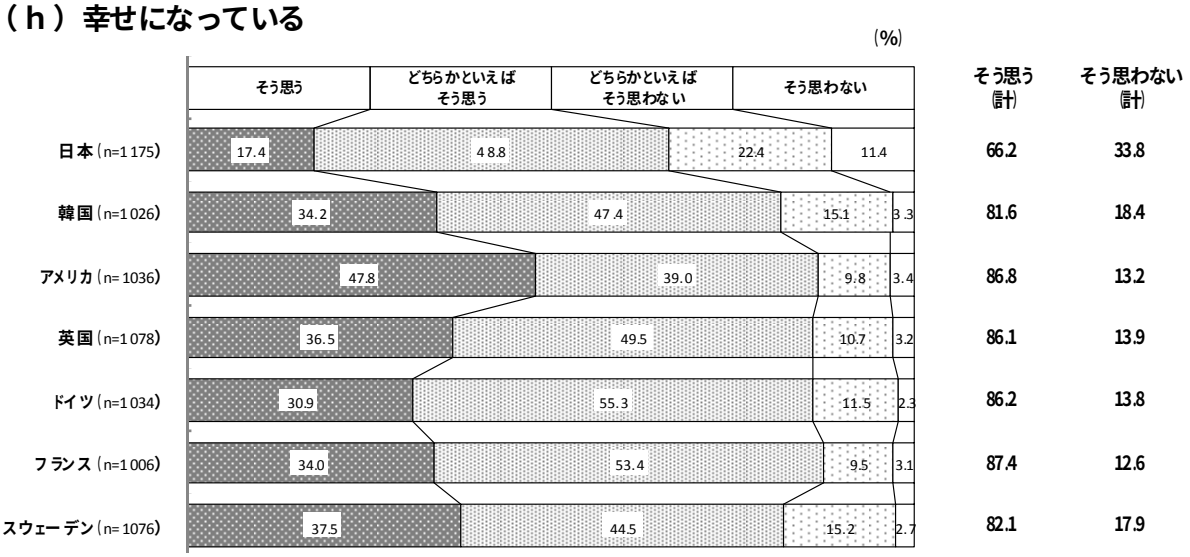
（ｆ）子どもを育てている



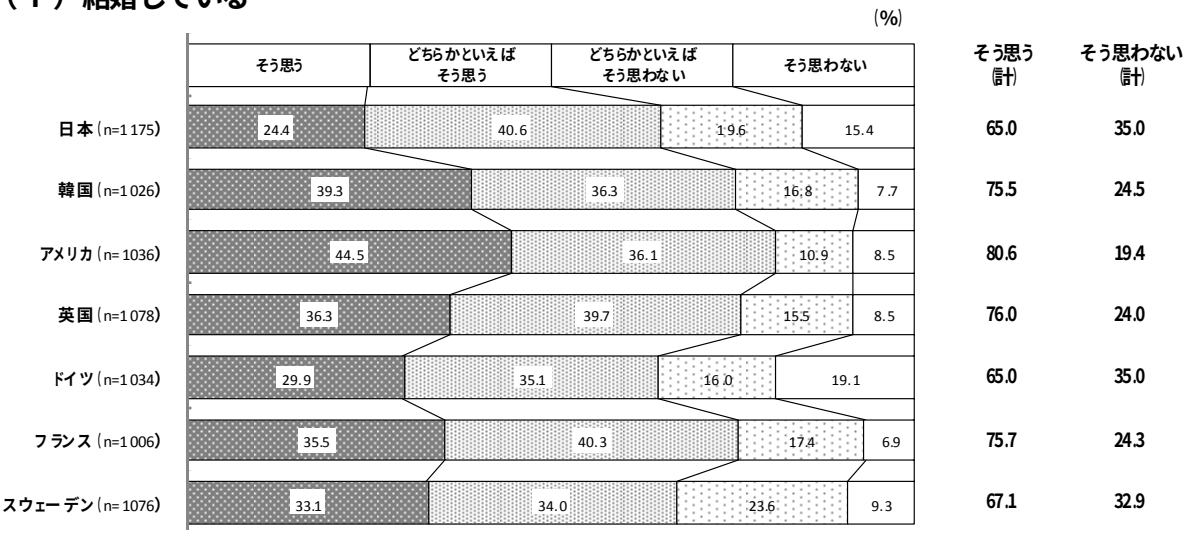
（ｇ）親を大切にしている



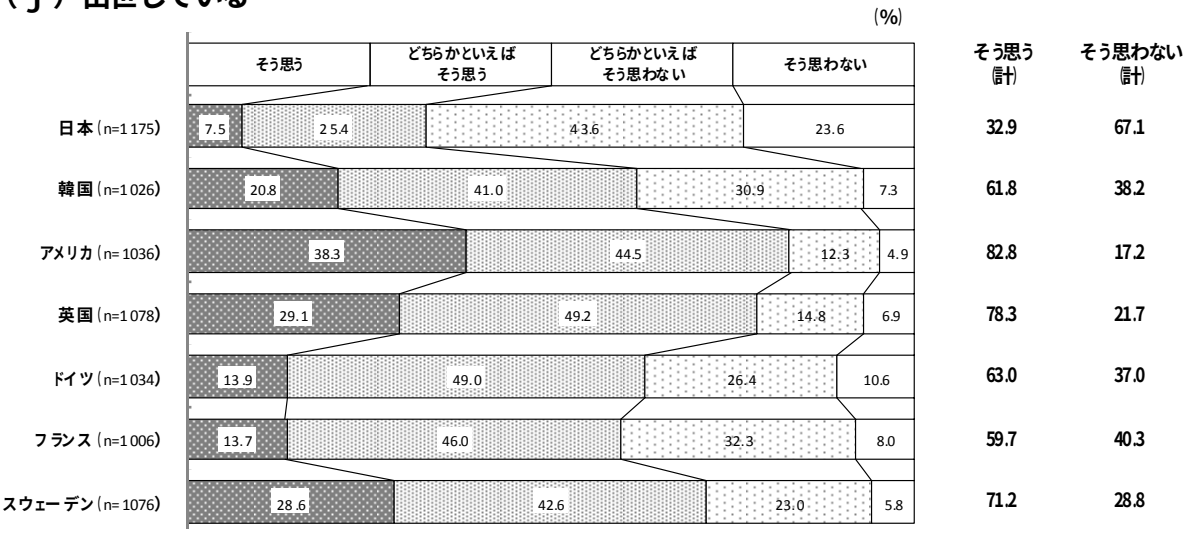
（ｈ）幸せになっている



（ｉ）結婚している



（ｊ）出世している



【分析】　『結婚・育児』への意識

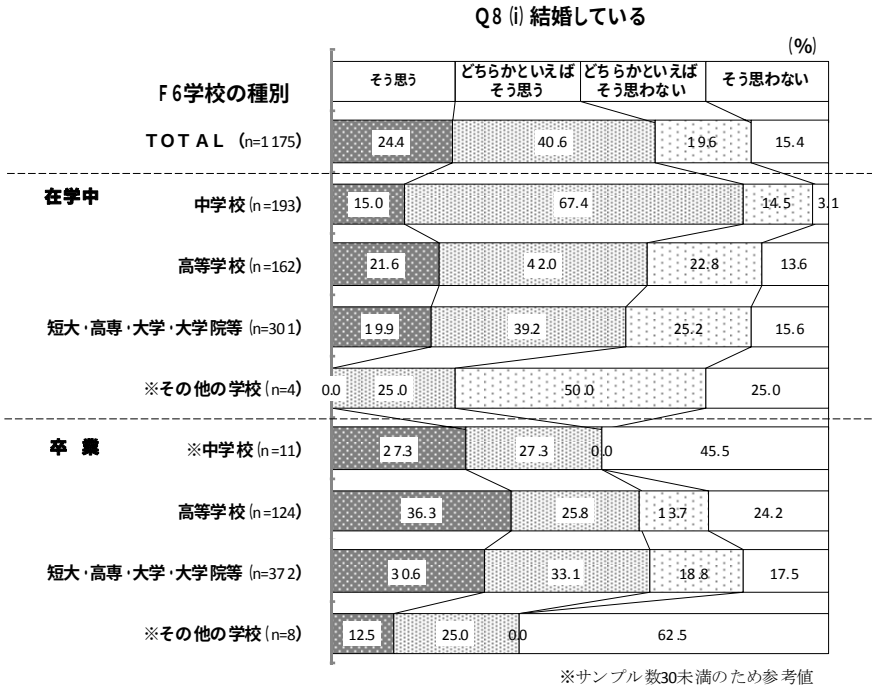
日本の若者は，『早く結婚して自分の家庭を持ちたい』と考える割合が諸外国と比べて高い（９ページ参照）ものの，将来，『結婚している』または『子どもを育てている』と考える割合は，７か国中低くとどまっている（36，37 ページ参照）。これらの結婚・育児の将来像は，同様に７か国中もっとも低い割合となっている『幸せになっている』という考えにも関連している。

「Q8(h)幸せになっている」との相関		
Q8(a) お金持ちになっている	.49	**
Q8(b) 自由にのんびり暮らしている	.44	**
Q8(c) 世界で活躍している	.28	**
Q8(d) 多くの人の役に立っている	.46	**
Q8(e) 有名になっている	.28	**
Q8(f) 子どもを育てている	.66	**
Q8(g) 親を大切にしている	.59	**
Q8(i) 結婚している	.70	**
Q8(j) 出世している	.50	**

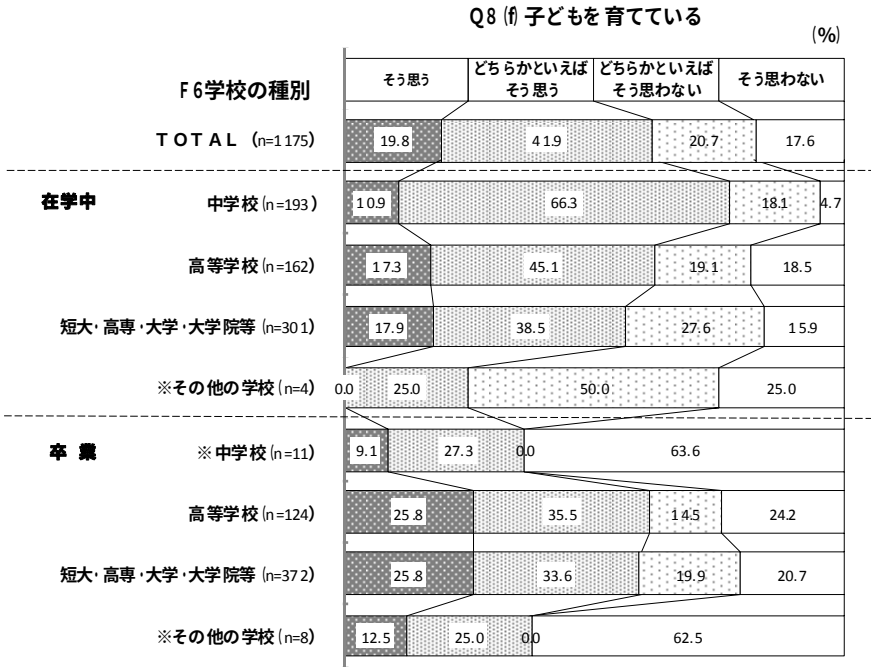
* 有意水準<.05，** 有意水準<.01

学歴別や職業の有無別に見ると，職に就いていない在学中の年齢が低い若者ほど「どちらかといえばそう思う」の割合が高く，漠然とした意識として考えられていることがうかがえる。一方で，卒業者で非正規雇用（パートタイム・派遣社員・契約社員）や無職の状態にある若者ほど結婚・育児の将来像をもてていないことがわかる。

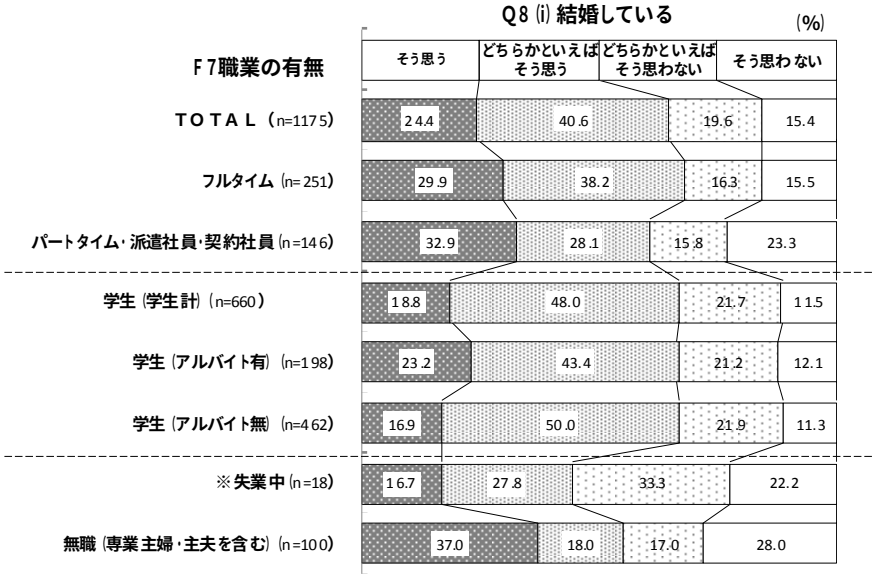
なお，「無職」には専業主婦・主夫が含まれ，結婚・育児のイメージを現実的にもっている若者が存在するため，『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合も高い傾向となっている。



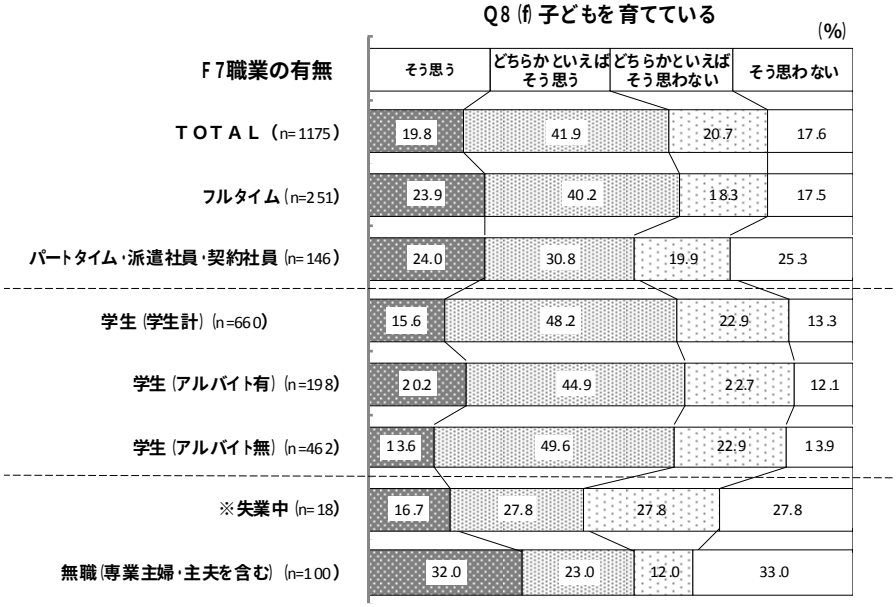
※サンプル数30未満のため参考値



※サンプル数30未満のため参考値

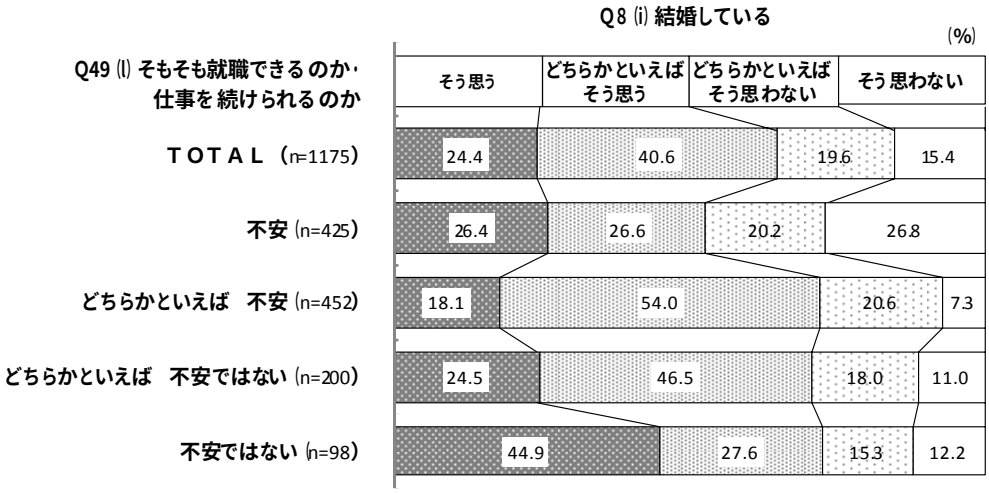


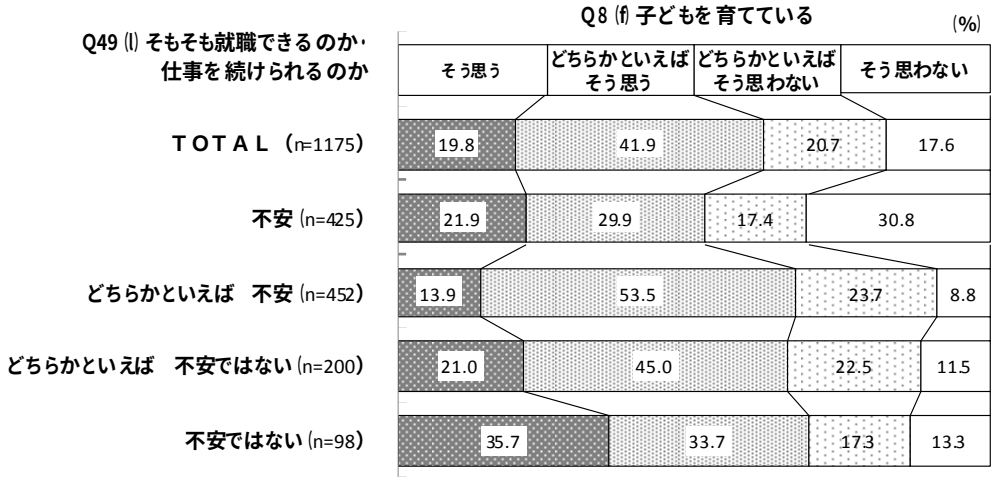
※サンプル数30未満のため参考値



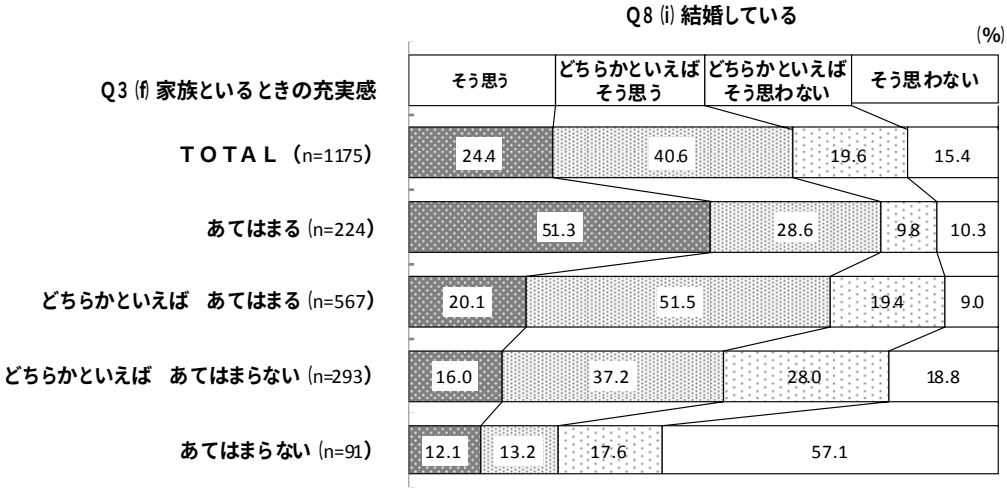
※サンプル数30未満のため参考値

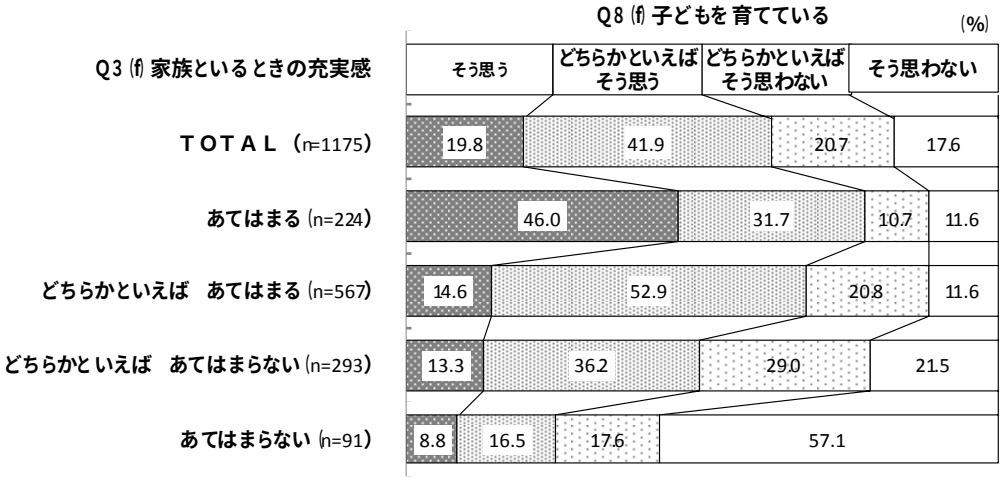
また，『そもそも就職できるのか，仕事を続けられるのか』という仕事に対する不安を抱える若者（「不安」＋「どちらかといえば不安」）は，結婚・育児のイメージをもつ割合が低い傾向となっており，就労状態や就労に関わる不安が結婚・育児の将来イメージへ関連していることがわかる。





一方で，家族との関係をみると，家族といると充実している（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と思う若者は，結婚・育児のイメージをもっている割合が高く，現在の家族関係や家庭生活が将来の自らの結婚や育児のイメージに関連していることがうかがえる。





日本の若者の結婚・育児の将来イメージを育んでいくためには，家族への支援の充実や家族の大切さなどについての理解促進，就労面の不安を解消していく支援策が期待される。

＜参考＞

「Ｑ８（f）40 歳になった時のイメージ／子どもを育てている」を被説明変数とし，「Ｑ３（f）家族といるときの充実感」，「Ｑ49（l）そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか」を説明変数とした回帰分析の結果を以下に示す。

【子育てイメージと仕事･家庭生活との関連（1175 サンプル）】

説明変数	被説明変数：Q8（g）子どもを育てている			
	係数推定値	標準誤差	*t*値	*p*値
Ｑ３　充実感 （ｆ）家族といるとき	**0.392 ****	**0.032**	**0.332**	**12.184**
Ｑ４９　現在または将来の不安 （ｌ）　そもそも就職できるのか ・仕事を続けられるのか	**-0.142 ****	**0.029**	**-0.133**	**-4.891**
自由度調整済み決定係数 *F*値	**0.132 90.457　(0.000)**			

※有意水準１％で有意のものは**で示している。
※自由度調整済み決定係数…説明変数が被説明変数のどれくらいを説明できるかを表す値。0 から 1 の間の値を取り，1 に近いほど説明できる割合（説明力）が高い。
※*F*値…説明変数で被説明変数を説明することの妥当性を示す値。

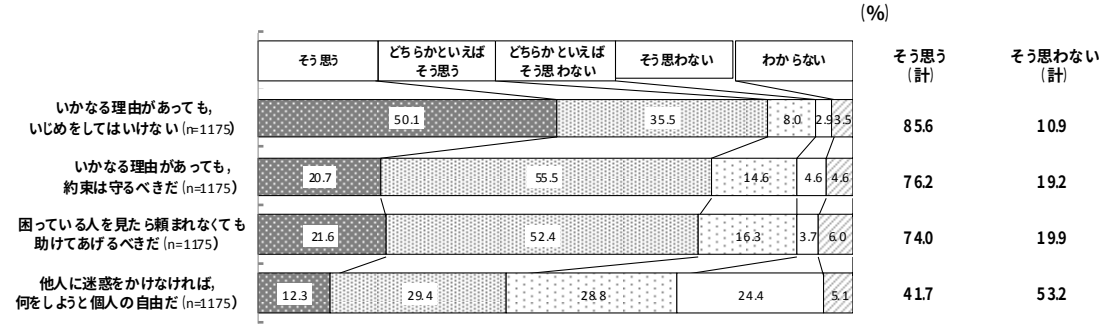
２つの説明変数はいずれも有意水準１％で有意，自由度調整済み決定係数は 0.132，*F*値は 90.457 である。「Ｑ３（f）家族といるときの充実感」の係数は正，「Ｑ49（l）そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのかという不安」の係数は負である。家族といるときに充実感を感じていたり，就職や仕事の継続に不安の少ない者は，将来子どもを育てているイメージを持ちやすいことがうかがえる。

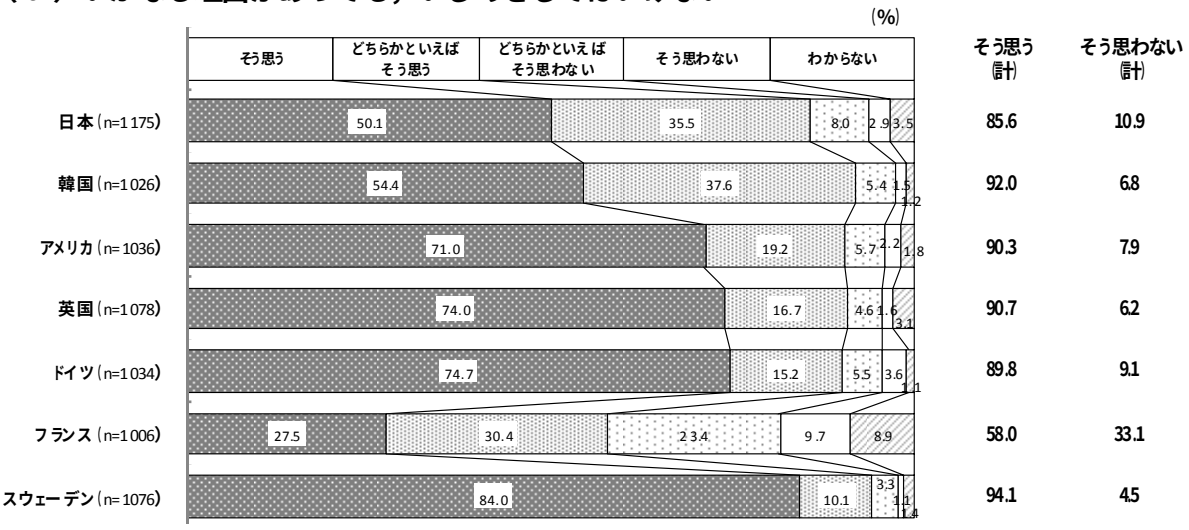
なお，決定係数の値が低いため，参考値とする。

４　社会規範

Ｑ９　あなたは次のことについてどう思いますか。あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。（回答はそれぞれ１つずつ）

日本の若者に社会規範について聞いたところ，「いかなる理由があっても，いじめをしてはいけない」に『そう思う』と回答した割合は，85.6%（「そう思う」50.1%＋「どちらかといえばそう思う」35.5%），以下，「いかなる理由があっても，約束は守るべきだ」（76.2%），「困っている人を見たら頼まれなくても助けてあげるべきだ」（74.0%）となっている。「他人に迷惑をかけなければ，何をしようと個人の自由だ」に『そう思わない』と回答した割合は，53.2%（「どちらかといえばそう思わない」28.8%＋「そう思わない」24.4%）となっている。



【国別】

（ａ）いかなる理由があっても，いじめをしてはいけない